

令和 7 年度

# 大山崎町教育委員会事業報告書

(令和 6 年度対象)



令和 7 年 8 月

大山崎町教育委員会



本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条の規定に基づき、令和 6 年度事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、作成したものです。

大山崎町教育委員会は、この点検・評価を踏まえ、今日的な教育課題や要請に対応した教育行政の推進に努力していきます。

大山崎町教育委員会

#### 教育委員名簿

| 職名    | 氏名      |
|-------|---------|
| 教 育 長 | 南 顕 融   |
| 職務代理者 | 榎 本 和 彦 |
| 委 員   | 宮 本 佳 子 |
| 委 員   | 淵 田 瑞 希 |
| 委 員   | 堀 田 守 人 |

#### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 1 教育委員会の活動状況

## 1. 会議の開催状況

| No. | 会議名     | 開催日              | 議事(審議)案件                                                                                                                                       |
|-----|---------|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 4 月定例会  | 令和 6 年 4 月 24 日  | 諸報告について<br>(第 28 号議案)<br>教育財産の取得の申出について(大山崎小学校給食棟建物)<br>(第 29 号議案)<br>教育財産の取得の申出について(第二大山崎小学校給食棟建物)                                            |
| 2   | 5 月定例会  | 令和 6 年 5 月 30 日  | 諸報告について<br>(第 30 号議案)<br>大山崎町立中央公民館図書室管理及び運営規則の一部改正について                                                                                        |
| 3   | 5 月臨時会  | 令和 6 年 5 月 30 日  | (第 31 号議案)教育委員の辞職について                                                                                                                          |
| 4   | 6 月定例会  | 令和 6 年 6 月 26 日  | 諸報告について<br>(第 32 号議案)<br>大山崎町立大山崎中学校学校運営協議会委員の委嘱について<br>(第 33 号議案)<br>大山崎町立大山崎中学校学校運営協議会委員の委嘱について<br>(第 34 号議案)<br>大山崎町立大山崎中学校学校運営協議会委員の委嘱について |
| 5   | 7 月定例会  | 令和 6 年 7 月 31 日  | 諸報告について                                                                                                                                        |
| 6   | 8 月定例会  | 令和 6 年 8 月 28 日  | 諸報告について<br>(第 35 号議案)<br>令和7年度から中学校において使用する教科用図書の採択について                                                                                        |
| 7   | 9 月定例会  | 令和 6 年 9 月 26 日  | 諸報告について                                                                                                                                        |
| 8   | 10 月定例会 | 令和 6 年 10 月 30 日 | 諸報告について                                                                                                                                        |
| 9   | 11 月定例会 | 令和 6 年 11 月 27 日 | 諸報告について                                                                                                                                        |
| 10  | 12 月定例会 | 令和 6 年 12 月 25 日 | 諸報告について                                                                                                                                        |
| 11  | 1 月定例会  | 令和 7 年 1 月 29 日  | 諸報告について<br>(第 1 号議案)<br>大山崎町立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部改正について                                                                                      |
| 12  | 2 月定例会  | 令和 7 年 2 月 26 日  | 諸報告について<br>(第 2 号議案)                                                                                                                           |

|    |        |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|----|--------|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    |        |                 | 大山崎町議会の議決を経るべき議案<br>(大山崎町立中央公民館の設置、管理及び職員に関する条例の一部改正について)について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 13 | 2 月臨時会 | 令和 7 年 2 月 26 日 | (第 3 号議案)<br>教職員管理職の人事異動について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 14 | 3 月定例会 | 令和 7 年 3 月 21 日 | 諸報告について<br>(第 4 号議案)<br>令和 7 年度学校教育・社会教育の指導の重点を定めることについて<br>(第 5 号議案)<br>大山崎町立第二大山崎小学校評議員の委嘱について<br>(第 6 号議案)<br>大山崎町立第二大山崎小学校評議員の委嘱について<br>(第 7 号議案)<br>大山崎町立第二大山崎小学校評議員の委嘱について<br>(第 8 号議案)<br>大山崎町社会教育委員の委嘱について<br>(第 9 号議案)<br>大山崎町社会教育委員の委嘱について<br>(第 10 号議案)<br>大山崎町社会教育委員の委嘱について<br>(第 11 号議案)<br>大山崎町社会教育委員の委嘱について<br>(第 12 号議案)<br>大山崎町社会教育委員の委嘱について<br>(第 13 号議案)<br>大山崎町社会教育委員の委嘱について<br>(第 14 号議案)<br>大山崎町指定文化財の指定について<br>(第 15 号議案)<br>大山崎町指定文化財の指定について |
| 15 | 3 月臨時会 | 令和 7 年 3 月 21 日 | (第 16 号議案)<br>大山崎町教育委員会事務局職員の任免について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |

## 2. その他の会議や活動など

(1) 総合教育会議(町長が招集し、会議の構成員として教育長及び教育委員が出席)  
令和 6 年度は、総合教育会議は開催されませんでした。

(2) 教育委員の主な活動

- ✓ 教育委員会関係行事への参加(教育長のみが出席したものを除く)
- ✓ 学校訪問(町立小中学校 各種式典、行事等、授業参観、懇談等)

(3) 委員研修

|   | 研修名                                        | 開催日              |
|---|--------------------------------------------|------------------|
| 1 | 乙訓教育委員会連合会研修会                              | 令和 6 年 5 月 13 日  |
| 2 | 京都府市町村教育委員会連合会研修会                          | 令和 6 年 5 月 29 日  |
| 3 | 京都府内市町村教育委員会研修会                            | 令和 6 年 11 月 8 日  |
| 4 | 近畿市町村教育委員会連絡協議会奈良県市町村教育委員会連合会合同研修大会(オンライン) | 令和 6 年 11 月 13 日 |
| 5 | 市町村教育委員会研究協議会                              | 令和 7 年 2 月 7 日   |
| 6 | 乙訓教育委員会連合会教育委員研修会                          | 令和 7 年 2 月 14 日  |

## 2 教育行政事務に係る点検・評価

## 1. 点検・評価の対象及び方法

令和 6 年度「指導の重点」における15の重点目標について、それぞれの目標達成に向けて取り組んだ事務事業の報告を行なった上で、評価委員の方からは重点目標ごとの評価をいただき、その進捗状況や今後の方向性について貴重なご意見・ご助言をいただきました。

## 2. 評価委員

| 氏 名     | 役 職 等                |
|---------|----------------------|
| 加 納 信 行 | 元大山崎町教育委員会指導主事(元学校長) |
| 芦 生 光 夫 | 元大山崎町教育委員会指導主事(元学校長) |

### 3 事業評価シート

## 1. 令和6年度「指導の重点」に掲げる重点目標

| No. | 重点目標                              | 内容                                                                                                                      |
|-----|-----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 確かな学力の育成                          | 基礎・基本的な「知識及び技能」の確実な習得、知識・技能を活用して課題を解決するための「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養という、資質・能力の三つの柱をバランスよく育成する。                 |
| 2   | 一人一人を大切に<br>した教育の実施               | 特別支援教育、人権教育など一人一人を大切にした教育を推進し、その能力や可能性の伸長と実践的態度を育成する取組を推進する。                                                            |
| 3   | 規範意識の醸成や<br>他者への思いやりなど<br>豊かな心の育成 | 学校や社会のきまり・ルールを守り、社会の一員としての自覚を深めるとともに、よりよく生きようとする力の源泉となる豊かな心をはぐくむ。                                                       |
| 4   | 健やかな体の育成と<br>体力の向上                | 生き生きとたくましく生きるため、体育・スポーツ活動に親しむ習慣や望ましい食習慣など、健康的な生活を実践する態度を育成する。                                                           |
| 5   | 信頼を高める<br>学校づくりの推進                | 家庭や地域社会と連携・協働して、信頼に応える学校づくり、開かれた学校づくりを推進する。                                                                             |
| 6   | 安全安心で、<br>いじめのない楽しい<br>学校づくりの推進   | 安全な環境の中で、いじめのない楽しい学校生活が送れるよう、家庭・地域社会と連携した取組を推進する。                                                                       |
| 7   | 指導体制の充実                           | 就学前6年間と義務教育9年間の15年をつなぐ「保幼小中一貫教育（連携教育）」に取り組み、一貫性、継続性を大切にした教育を推進する。また、少人数授業やティームティーチングなどの指導方法、少人数学級や専科指導など、組織的な指導体制を構築する。 |
| 8   | 教育効果をあげる<br>教育環境の充実               | 学校施設を整備・充実し、質の高い教育が効果的に実施される環境づくりを推進する。                                                                                 |
| 9   | 生涯学習を推進する<br>体制の充実                | 生涯にわたって多様な学習活動に取り組み、住民一人一人が「生涯をとおして、理解し合い、学び合うまち」づくりをめざして、学び続けることのできる学習環境の整備・充実に努める。                                    |
| 10  | 家庭の教育力の向上                         | 家庭教育の自主性を尊重しつつ、教育の出発点である家庭の教育力を高めるための支援を推進する。                                                                           |

| No. | 重点目標              | 内容                                                                                                          |
|-----|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 11  | 地域社会の教育力の向上       | 学校・家庭・地域が連携し、社会全体で子どもの学びや育ちを支える環境づくりを推進する。                                                                  |
| 12  | 人権教育・啓発・擁護活動の推進   | 一人一人の尊厳と人権が尊重される社会の実現に向け、人権意識を高め人権感覚を身に付ける取組を推進するとともに、実践につながる自発的な学習活動を促進する。                                 |
| 13  | 社会教育施設の活用         | 多様な学習機会を増やすとともに、地域のネットワークの拠点である社会教育施設の充実と活用の促進を図り、学習・文化活動場面での町民の協働を推進する。                                    |
| 14  | 生涯スポーツの推進         | 誰もが心身共に健康な生涯を実現できるよう、各スポーツ施設を整備・充実し、日常的に体力・競技力の向上が図られる環境づくりに努め、年齢や体力、目的に応じて、主体的にスポーツに親しむ生涯スポーツを振興する。        |
| 15  | 文化活動の促進と文化財の保護・活用 | 天王山と三川合流地点の地形に恵まれた町の美しい自然と豊かな歴史を活用し、自分の住んでいる地域への愛着や誇りをはぐくむとともに、様々な取組や町内にある数多くの文化財に興味・関心を持ち、郷土の歴史や伝統文化を受け継ぐ。 |

## 2. 重点目標に対する評価委員による所見

| 重点目標1        | 確かな学力の育成                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |            |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 目標の概要        | 基礎・基本的な「知識及び技能」の確実な習得、知識・技能を活用して課題を解決するための「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養という、資質・能力の三つの柱をバランスよく育成する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |            |
| 該当する<br>事務事業 | 事務事業番号1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 学力向上推進事業Ⅰ  |
|              | 事務事業番号2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 学力向上推進事業Ⅱ  |
|              | 事務事業番号4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 特色ある学校づくりⅡ |
|              | 事務事業番号6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 特色ある学校づくりⅣ |
| 評価委員所見       | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ それぞれの学校、学年における、京都式少人数教育の活用や町及び学校独自の取組により、児童生徒一人一人の個に応じた、よりきめ細やかな学習指導や生徒指導等ができるように工夫され、学習への関心を高め、学力伸長に努めていると評価できる。継続されることを望む。</li> <li>✓ 今後も、学力診断テストや学期毎のまとめテスト等を活用し、個々の児童生徒の学力を把握し、これを踏まえて、更なる確かな学力の向上と定着に主眼を置き、「主体的・対話的で深い学び」を取り入れた授業を継続実践されることを願う。</li> <li>✓ 令和6年度は、朝学習や補修学習に、前年度の内容からさらに工夫した取組や、学習支援員等の配置事業を含め、学力の定着と向上に努められており、課題認識に述べられているように、計画的かつ組織的な指導にて、その成果を検証されたい。</li> <li>✓ 英語科における小中連携加配や小学校における英語専科指導加配の配置活用は、小学校における英語教育の充実と小中9年間を踏まえた英語教育の定着と向上に寄与していると言え、継続を願う。</li> <li>✓ 英検ジュニアの実施や英語検定への補助は、英語のみならず、児童生徒への学習意欲の向上という観点からも良い制度であり、継続を願う。</li> <li>✓ 授業時数の確保は、行事との兼ね合いを含め難しい面もあると思われるが、計画的なカリキュラムの実施により、確保されていることは評価できる。</li> <li>✓ 「大山崎っ子できます10」は、本町の教育振興計画を踏まえ、その取組が始まって11年が経過したが、小中9年間を通した一貫性のある目標が掲げてあり、一層の活用を願う。</li> <li>✓ 美術作品等の各種団体への応募数も本年度は増えており、児童生徒が個々に持つ能力の発見やその充実向上に向け、応募に対し更なる支援されることを願う。</li> <li>✓ 「指導の重点」では、コミュニケーション能力の育成やプログラミング教育の充実、SDGsなどの時代の変化に伴う目標が掲げられ、各校で実施されているが、検証に努められたい。</li> </ul> |            |

| 重点目標2        | 一人一人を大切にした教育の実施                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |            |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 目標の概要        | 特別支援教育、人権教育など一人一人を大切にした教育を推進し、その能力や可能性の伸長と実践的態度を育成する取組を推進する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |            |
| 該当する<br>事務事業 | 事務事業番号8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 特別支援教育推進事業 |
|              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |            |
|              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |            |
| 評価委員所見       | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 特別な支援が必要とされる児童生徒に対して、一人一人を大切にし、その能力や可能性の伸長に向け、障害の程度や状況に応じた教育が展開できるよう、各校に特別支援学級や通級指導教室等が新設・増設され、適切な指導が行われており、成果も表れているように思われる。</li> <li>✓ 通級指導教室が町立小中学校に設置されていることが、成果にもあるように、支援計画の継続した指導が展開されている。</li> <li>✓ 特別支援教育支援員の配置は、対象児童生徒及び支援学級が計画に沿った学習活動ができ、個々の児童生徒の能力向上につながっていると考えられるため、支援員の専門性を照らし合わせながら、今後も効果ある適正な配置継続を望む。</li> <li>✓ 今後も、特別な支援が必要となる児童生徒の在籍割合が多くなると思われるため、その体制を確立されたい。</li> </ul> |            |

| 重点目標3        | 規範意識の醸成や他者への思いやりなど豊かな心の育成                                                                                                                                                                                                                                                           |            |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 目標の概要        | 学校や社会のきまり・ルールを守り、社会の一員としての自覚を深めるとともに、よりよく生きようとする力の源泉となる豊かな心をはぐくむ。                                                                                                                                                                                                                   |            |
| 該当する<br>事務事業 | 事務事業番号4                                                                                                                                                                                                                                                                             | 特色ある学校づくりⅡ |
|              |                                                                                                                                                                                                                                                                                     |            |
|              |                                                                                                                                                                                                                                                                                     |            |
| 評価委員所見       | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 地域の伝統文化への関心や地域の資材を活かした学習という観点からも評価できる。小学校間では、エゴマ体験事業など取組内容に共通のものも取り入れてはどうか。</li> <li>✓ 成果にあるように、中学校の職場体験の再開は、課題もあるようだが継続を望む。</li> <li>✓ 地域学校協働活動推進を図るため、地域学校推進委員の委嘱やボランティア等の人材育成を進めることにより、町全体で生涯学習を推進する体制を早急に努めることが当面の大きな課題である。</li> </ul> |            |

| 重点目標4        | 健やかな体の育成と体力の向上                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |            |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 目標の概要        | 生き生きとたくましく生きるため、体育・スポーツ活動に親しむ習慣や望ましい食習慣など、健康的な生活を実践する態度を育成する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |            |
| 該当する<br>事務事業 | 事務事業番号3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 特色ある学校づくりⅠ |
|              | 事務事業番号10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 小中学校給食     |
|              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |            |
| 評価委員所見       | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「小学校陸上交歓会」が再開され、児童も楽しみにしており、一定の成果を得られており、継続を望む。</li> <li>✓ 第二大山崎小学校で研究指定を受けた「体育指導力向上」の成果を町内の各校に広めるよう努められたい。</li> <li>✓ 中学校における部活動は、生徒の楽しみでもあり、学校生活の充実と能力向上の観点からも、今後の部活動の在り方を含め一層検討されたい。</li> <li>✓ 学校給食においては、コロナ禍での感染症対策をはじめ、物価高騰が著しい中で、地元食材の調達を含めメニューの作成から調理方法に至るまで、工夫ある給食実施がされていると思われる。（児童がいつもおいしく完食している場面を見えています。）</li> <li>✓ フェンシング競技への関心や人気の高まりを合わせ、「フェンシング体験授業」の再開を望む。</li> </ul> |            |

| 重点目標5        | 信頼を高める学校づくりの推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |            |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 目標の概要        | 家庭や地域社会と連携・協働して、信頼に応える学校づくり、開かれた学校づくりを推進する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |            |
| 該当する<br>事務事業 | 事務事業番号5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 特色ある学校づくりⅢ |
|              | 事務事業番号11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 教師力向上事業    |
|              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |            |
| 評価委員所見       | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 土曜授業をはじめ、教育活動実践の場を公開することや学校情報を公表することは、保護者への学校教育の理解と協力を訴えることと保護者からの意見を聞く大きな場であり、その意義は大きいと思われるため、課題点も多くあると思われるが、今後も実施する方向での検討を望む。</li> <li>✓ 全国学力・学習状況調査等を踏まえ、町全体として、これらから見える課題を分析し、授業改善につなげたことは、児童生徒の学力状況を共通理解できたと思われる。</li> <li>✓ 各種の教職員研修会の実施は、教育の多様化、教職員の世代交代が進む中で、授業力をはじめとする教師力の向上やこれからの時代の変化に対応できる指導力の育成、並びに人材育成などの研修を、今後も計画的に実施されることを願う。</li> </ul> |            |

|                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                 |
|----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| <b>重点目標6</b>         | <b>安全安心で、いじめのない楽しい学校づくりの推進</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                 |
| <b>目標の概要</b>         | 安全な環境の中で、いじめのない楽しい学校生活が送れるよう、家庭・地域社会と連携した取組を推進する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                 |
| <b>該当する<br/>事務事業</b> | 事務事業番号7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | いじめ問題への取組       |
|                      | 事務事業番号12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 子どもの安心・安全に関する事業 |
|                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                 |
| <b>評価委員所見</b>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 令和6年度においても、いじめ調査だけではなく、日頃からの適切な対応と指導ができていていると思われる。</li> <li>✓ 成果では、「追跡調査では、すべて解消となった。」とあるが、重大事態に至ることがないよう、今後も、すべての児童生徒が安心して楽しい学校生活を送れるよう、引き続きの実践を願う。</li> <li>✓ 課題認識の通り、教職員の人権意識の高揚を高め、引き続き「いじめはいつ起こるかは分からない」ことを念頭に、教職員の日頃の観察やいじめアンケート及び面接を活用することで、いじめの早期発見・早期指導につなげるとともに、いじめを起こさせない適切な指導と対応を願う。</li> <li>✓ 児童生徒への人権意識の向上やいじめに対する正しい認識と教職員の鋭い人権意識、児童生徒への理解力と指導力が常に保たれるよう、各校においても計画的な研修の実施を願う。</li> <li>✓ 通学に関する安全対策は、子ども安全見守り隊をはじめ、交通指導員の配置、PTA の取組、教職員の登校指導など、通学路の安心・安全に向けた取組がきめ細かに行われていることは大いに評価できる。</li> <li>✓ 近年の道路事情や交通量の変化、全国で発生した交通事故を鑑みて、登下校での交通指導員の配置をはじめ、児童生徒への事故・事件・災害等に対する防犯・防災の一層の指導徹底を願う。</li> </ul> |                 |

| 重点目標 7       | 指導体制の充実                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |          |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 目標の概要        | 就学前6年間と義務教育9年間の15年をつなぐ「保幼小中一貫教育(連携教育)」に取り組み、一貫性、継続性を大切にした教育を推進する。また、少人数授業やチームティーチングなどの指導方法、少人数学級や専科指導など、組織的な指導体制を構築する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |          |
| 該当する<br>事務事業 | 事務事業番号9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 適応指導教室事業 |
|              | 事務事業番号 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 幼児教育振興事業 |
| 評価委員所見       | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「たけのこ教室」の運営方法については、学校との連携による認識の共有、保護者や児童生徒との面談を通じての個々の状況やニーズに合った通級の方法とその支援の在り方、専門員によるカウンセリングの実施など、児童生徒への指導内容や教室での取組を含め、適切な指導がなされていると思われる。</li> <li>✓ 本年度も多くの体験学習や社会見学が実施され、参加生徒の意欲喚起につながったのではないと思われる。</li> <li>✓ 課題認識に述べられているように、アウトリーチを含めた本人及び保護者へのはたらきかけの方法や体制についての検討を進められたい。</li> <li>✓ 不登校(傾向を含む)にならない児童生徒への取組が、一層望まれるのではないと思われる。</li> <li>✓ 幼児教育の充実のため、各種の補助金給付が行われているなど、幼児教育の振興が図られているが、保護者負担の軽減をさらに進めて幼児教育・保育無償化に向けて一層努められたい。</li> <li>✓ 保幼小中連携を工夫し、「大山崎っ子できます 10」などを生かした系統的な取組を充実されたい。</li> </ul> |          |

| 重点目標 8 教育効果をあげる教育環境の充実 |                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目標の概要                  | 学校施設を整備・充実し、質の高い教育が効果的に実施される環境づくりを推進する。                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 該当する<br>事務事業           | 事務事業番号 14 学校施設・整備事業                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|                        | 事務事業番号 15 GIGA スクール事業                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 評価委員所見                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 各学校の施設が計画的に整備改修されており、効果も表れている。課題認識に述べられているように課題もあるが、今後も機を逸することなく児童・生徒が安心・安全に過ごせる教育環境に整備に努められたい。</li> <li>✓ GIGAスクール事業に関する設備やソフトの導入は、授業の効率化と児童生徒の学習理解と定着につながっていると評価できる。</li> <li>✓ 児童生徒のICT活用における教員の補助や教員研修など充実の重要性からICT支援員の配置継続は必要と思われる。</li> </ul> |

| 重点目標 9 生涯学習を推進する体制の充実 |                                                                                                                                                                                                |
|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目標の概要                 | 生涯にわたって多様な学習活動に取り組み、住民一人一人が「生涯をとおして、理解し合い、学び合うまち」づくりをめざして、学び続けることのできる学習環境の整備・充実に努める。                                                                                                           |
| 該当する<br>事務事業          | 事務事業番号 19 大山崎町二十歳を祝う会事業                                                                                                                                                                        |
|                       | 事務事業番号 20 男女共同参画事業                                                                                                                                                                             |
| 評価委員所見                | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 二十歳を祝う会の出席率が9割近くあるのは、今後も維持されたい。第二部のあり方は、今後の検討が必要である。</li> <li>✓ 男女共同参画事業として実施した講演会は人権教育の研修と抱き合わせて行ったのは、人権教育の幅を広げ、様々な対象に関心を持ってもらうためにも、よかった。</li> </ul> |

| 重点目標 10      | 家庭の教育力の向上                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |            |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 目標の概要        | 家庭教育の自主性を尊重しつつ、教育の出発点である家庭の教育力を高めるための支援を推進する。                                                                                                                                                                                                                                                                  |            |
| 該当する<br>事務事業 | 事務事業番号6                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 特色ある学校づくりⅣ |
|              | 事務事業番号 17                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 家庭教育支援事業   |
|              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |            |
| 評価委員所見       | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 子育てや家庭教育に関する情報を「広報おおやまぎ」で発信したり、リーフレット等などで啓発を図ったりすることは大切である。</li> <li>✓ 「親育ネットおとくに」協議会など、町外の団体・機関との連携を図り、家庭教育の一層の推進に継続して努めてほしい。</li> <li>✓ 親子サロン「スマイルプレイス」は、放課後の児童の居場所作りとしての役割を果たしていることは評価できる。今後は放課後児童クラブなどとの連携も図りながら安心安全な子育ての環境を整備しながら家庭の教育力の向上、推進に努められたい。</li> </ul> |            |

| 重点目標 11      | 地域社会の教育力の向上                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                           |
|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|
| 目標の概要        | 学校・家庭・地域が連携し、社会全体で子どもの学びや育ちを支える環境づくりを推進する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                           |
| 該当する<br>事務事業 | 事務事業番号 16                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | ときめきチャレンジ推進事業・放課後マイプレイス事業 |
|              | 事務事業番号 21                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 放課後児童クラブ運営事業              |
|              | 事務事業番号 24                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 子ども体験教室事業                 |
| 評価委員所見       | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 放課後の子どもの居場所づくりとして「ときめきチャレンジ推進事業」「放課後マイプレイス事業」、「子ども体験教室事業」を様々な形態で取り組まれていることは評価できる。今後は、それぞれの事業を調整しながら効果的に計画・実施していくことも工夫されたい。</li> <li>✓ 親子サロン「スマイルプレイス」は、放課後の児童の居場所作りとしての役割を果たしていることは評価できる。今後は放課後児童クラブなどとの連携も図りながら、安心安全な子育ての環境を整備しながら家庭の教育力の向上、推進に努められたい。</li> <li>✓ 放課後児童クラブや放課後の子どもたちの居場所への要望やニーズが増加していくことが予想される。今後は、非常勤の指導員も含めて、子どもたちのために安心して働ける環境を整えることが大切である。また、ときめきチャレンジ推進事業や公民館講座などの取組との連携や活動内容の工夫改善にも努められたい。</li> </ul> |                           |

| 重点目標 12 人権教育・啓発・擁護活動の推進 |                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目標の概要                   | 一人一人の尊厳と人権が尊重される社会の実現に向け、人権意識を高め人権感覚を身に付ける取組を推進するとともに、実践につながる自発的な学習活動を促進する。                                                                                                                                                                                                         |
| 該当する<br>事務事業            | 事務事業番号 18 人権教育・啓発の推進事業                                                                                                                                                                                                                                                              |
|                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 評価委員所見                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 2回の人権教育研修会は研修内容や講師の選定などよかった。町の歴史資料館と連携した試みが天候のため実施できなかったのは残念であった。</li> <li>✓ 参加人数が少ない点は、保育所、幼稚園、小中学校、PTA、社会教育関係団体等と実行委員会形式で開催するなど工夫すべきである。</li> <li>✓ 社会教育関係団体と家庭教育支援団体等交流会、二十歳を祝う会、男女共同参画事業等において、連携して実施するなど、工夫しながら実施できたのはよかった。</li> </ul> |

| 重点目標 13 社会教育施設の活用 |                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目標の概要             | 多様な学習機会を増やすとともに、地域のネットワークの拠点である社会教育施設の充実と活用の促進を図り、学習・文化活動場面での町民の協働を推進する。                                                                                                                                                                                                                 |
| 該当する<br>事務事業      | 事務事業番号 22 公民館管理運営事業                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|                   | 事務事業番号 23 各種公民館講座事業                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|                   | 事務事業番号 25 公サ連まつり事業                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                   | 事務事業番号 26 図書室運営事業                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|                   | 事務事業番号 27 「教育・文化週間」関連行事                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 評価委員所見            | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 公サ連まつりが実施できたことはよかった。今後は、長寿苑等の施設との連携を図りながら事業を進めていくことも大切ではないか。</li> <li>✓ 図書室運営については、中央公民館の新築工事との関係で従来通りの運営は難しいことが予想され得るが、工夫して取組を実施されたい。</li> <li>✓ 「文化のつどい」の新たな形態として「ときめきラテンコンサート」を実施されたが、良い工夫であると評価できるので、今後も他の事業と連携しながら文化事業に取り組まれたい。</li> </ul> |

| 重点目標 14      | 生涯スポーツの推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                        |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|
| 目標の概要        | 誰もが心身共に健康な生涯を実現できるよう、各スポーツ施設を整備・充実し、日常的に体力・競技力の向上が図られる環境づくりに努め、年齢や体力、目的に応じて、主体的にスポーツに親しむ生涯スポーツを振興する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                        |
| 該当する<br>事務事業 | 事務事業番号 28                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 体育館管理運営事業              |
|              | 事務事業番号 29                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 大山崎町天王山カップ少年少女フェンシング大会 |
|              | 事務事業番号 30                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | スポーツ振興事業               |
|              | 事務事業番号 31                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | スポーツ体験教室事業             |
|              | 事務事業番号 32                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | スポーツ団体育成事業             |
|              | 事務事業番号 33                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | スポーツ推進委員育成事業           |
|              | 事務事業番号 34                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 各種スポーツ施設開放事業           |
| 評価委員所見       | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 生涯スポーツの振興は、町民の健康維持・増進を図る上でも大切なことである。体育館の利用は町外の団体による利用も多く利用率が70パーセントを超えていることはよい結果である。今後は、町内の団体等の活用率を増やしていくような工夫も必要ではないか。</li> <li>✓ フェンシングの町大山崎として大会開催に苦心されている。ボランティア等の協力体制の整備を図りながら取組を進めていく必要がある。また、スポーツ団体などが中心となり体験教室やスポーツデーなどの事業に工夫して取り組んでいく必要がある。</li> <li>✓ 町民体育祭や町体育協会主催の各種事業が自治会・町内会をベースにした事業から町民個々による参加型に変えて行われたことは、自治会存続や活性化の観点からは残念であるが、今後も参加状況を分析しながら町民のスポーツ活動が向上していくように工夫された取組を行っていくことが大切である。</li> <li>✓ 町民がスポーツに親しむことは健康の維持増進にとっても大切なことである。河川敷公園の整備も合わせて進めていくことが必要である。</li> </ul> |                        |

| 重点目標 15 文化活動の促進と文化財の保護・活用 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|---------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目標の概要                     | 天王山と三川合流地点の地形に恵まれた町の美しい自然と豊かな歴史を活用し、自分の住んでいる地域への愛着や誇りをはぐくむとともに、様々な取組や町内にある数多くの文化財に興味・関心を持ち、郷土の歴史や伝統文化を受け継ぐ。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 該当する<br>事務事業              | 事務事業番号 35 歴史資料館運営事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                           | 事務事業番号 36 各種企画展等事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|                           | 事務事業番号 37 講座・講演会事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|                           | 事務事業番号 38 有形文化財の保護                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|                           | 事務事業番号 39 文化財調査事業(原因者)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|                           | 事務事業番号 40 文化財調査事業(国庫補助)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|                           | 事務事業番号 41 埋蔵文化財等普及啓発事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|                           | 事務事業番号 43 文化事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 評価委員所見                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 歴史資料館では、講演会、現地見学会などコロナ以前の活動状況に戻して取り組まれた結果、年間入場者数や図録等販売実績が前年度を上回ったことは大いに評価できる。</li> <li>✓ 歴史資料館での企画展(年5回)は、本年度もたくさんの参加者があった。また、講座・講演会も 10 回開催し、多くの参加者を得ている。いずれも、町外からの参加者が多く人気度が高いことがわかる。こうした事業への町民の関心を高め、参加者を増やしていくための工夫も必要である。</li> <li>✓ 文化財の保護・調査・普及活用等の事業も大切であり、今後も継続して地道な取組を進められたい。</li> <li>✓ 小学生の資料館を活用した授業や乙訓二市一町の芸術・文化団体との交流事業などの実施は、文化振興のためにも継続して取り組み続けられたい。</li> <li>✓ こういった取組を通して、子どもの時から自分たちの町の歴史や文化を知り、文化に対する意欲関心を涵養していくことが大切である。</li> </ul> |

### 3. 教育委員会が実施した主要事務事業の状況

事務事業番号<1>

| 重点目標  | 【重点目標1】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |      |       |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------|
| 事務事業名 | 学力向上推進事業Ⅰ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 担当部署 | 学校教育課 |
| 事業実績  | <p>確かな学力の育成を目指し、少人数授業等に取り組んだ。</p> <p>① 子どものための京都式少人数教育の実施<br/>         &lt;大山崎小学校&gt;<br/>         6年生で少人数学級を実施した。<br/>         &lt;第二大山崎小学校&gt;<br/>         全学年がもともと少人数学級となっていた。<br/>         &lt;大山崎中学校&gt;<br/>         2年生の数学科・英語科でティームティーチングを実施した。</p> <p>② 学力向上に向けた学校独自の取組<br/>         &lt;大山崎小学校&gt;<br/>         ✓ 補習については全学級が個に応じて実施し、基礎的・基本的な学習内容の定着を図った。<br/>         ✓ 週2回の朝学習、水曜の午後に算数タイムを設定し、計算の力や算数への興味の向上を図った。<br/>         &lt;第二大山崎小学校&gt;<br/>         ✓ 朝学習15分間では、国語科のモジュール学習を、週3日（火・水・木）実施し、基礎的・基本的な学習の定着を図った。<br/>         ✓ 振り返りのまとめ方の指導を実施した。<br/>         ✓ 掲示物を活用した話し方・聴き方の指導を実施した。<br/>         ✓ 学習支援員配置事業として、4年生10名、6年生10名の児童を対象に算数の補習を実施した。</p> <p>【実施日】<br/>         4年生：5月30日～2月28日のうち14日間<br/>         6年生：6月7日～3月7日のうち15日間<br/>         &lt;大山崎中学校&gt;<br/>         ✓ 朝学習では、各教科の既習事項の反復学習や朝読書等を取り入れ、基礎的、基本的な学習内容の定着を図った。<br/>         ✓ 学習支援員配置事業として、1年生34名、2年生34名の生徒を対象に国語、数学、英語の補習を実施した。</p> <p>【実施日】<br/>         1年生：6月6日～9月20日のうち48日間<br/>         2年生：6月13日～8月22日のうち29日間</p> |      |       |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | <p>③ 英語教育推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 英検ジュニアの実施：小学校5・6年生を対象とし、町中央公民館を会場として2回実施した。検定料は全額町補助とし、1人1回分を無料とした。</li> </ul> <p>【参加児童】 1回目 34名、2回目 17名、延べ 51名</p> <p>【実施日】 9月7日(土)、2月1日(土)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 英語検定の実施：一次試験について、中学校を準会場として英語検定を年3回実施した。検定費用として一人1回、町からの補助(一律 1,000 円補助)。</li> </ul> <p>【参加生徒】 延べ 151 名</p> <p>【実施日】 5月31日(金)、10月4日(金)、1月17日(金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 小学校英語専科指導加配の配置<br/>大山崎小学校1～5年、第二大山崎小学校1～5年において、外国語・外国語活動の授業を担当し、ALTとチームティーチング授業を行なった。</li> <li>✓ 小中連携加配の配置<br/>町立小学校 6 年生の外国語の授業を担当し、ALTとチームティーチング授業を行なった。</li> </ul> |
| 成 果     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少人数学級及びチームティーチングにより、個に応じた適切できめ細かい学習指導や生徒指導が可能になり、落ち着いて学習に取り組む姿勢が作られ、児童生徒の学習への関心・意欲を高めることができた。</li> <li>・ 英語科の小中連携加配の効用として、小学校の外国語科の充実と中学校での学習規律をはじめとする学校生活への円滑な接続、効果的な指導となった。</li> <li>・ 小学校では、専門性のある中学校教員やALTを配置していることで、質の高い英語教育を安定して実施することができた。</li> <li>・ 英語専科と小中連携加配により、小学校 5・6 年生の外国語、3・4 年生の外国語活動が円滑に進められた。</li> <li>・ 小学校での学期ごとのまとめテストでは、各児童の学習の定着度合いが把握でき、指導に役立つとともに児童の学習への意欲向上につながった。</li> <li>・ 学習支援員配置事業では、放課後や長期休業日などを利用し、小中学校とも基礎学力の定着を図ることができた。</li> <li>・ 平成 28 年度から小学生も対象として取り組んだ英語検定の実施は、多くの児童生徒の学習意欲の向上につながっている。</li> </ul>                                  |
| 課 題 認 識 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ より効果的に少人数教育を進めるため、小中学校の連携を図りながら、各種の学力診断テストなどを活用し、学力向上の視点で分析及び検証しながらそのあり方を研究する必要がある。</li> <li>・ 学力課題の大きい学年もあり、小中連携を生かし、課題把握及び学習指導・生徒指導の両面で計画的・組織的な指導が必要である。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |

事務事業番号＜2＞

|           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |      |       |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------|
| 重 点 目 標   | 【重点目標1】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |      |       |
| 事 務 事 業 名 | 学力向上推進事業Ⅱ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 担当部署 | 学校教育課 |
| 事 業 実 績   | <p>確かな学力の育成を目指し、授業改善などに取り組んだ。</p> <p>① 標準授業時数の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 学校行事等は計画どおり実施できるよう各校工夫を講じた上で、標準授業時数を全ての学年で確保した。</li> </ul> <p>② 学力向上に向けた教科補習の取組</p> <p>＜小学校＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 教育課程外の取組として毎日の朝学習を実施した。</li> <li>✓ 放課後等の学習指導は必要に応じて個別指導を実施したほか、授業の中での机間指導や授業間の時間などで補った。</li> </ul> <p>＜中学校＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 定期テスト前に英語・数学の補習学習を実施した。</li> <li>✓ 3年生は、2学期の終わりから放課後、進路実現に向けた自主学習に取り組み、生徒からの質問等には個別に教員が対応した。</li> </ul> |      |       |
| 成 果       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画的なカリキュラムの実施により、授業時数を確保し、学力保障や進路保障につながった。</li> <li>・ 学力向上に向けた取組ができるよう、補習学習や行事のあり方を工夫できた。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |      |       |
| 課 題 認 識   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業時数の確保は、学力の保障や向上、進路保障において必須要件であるため、授業時数の確保を最優先し、他の行事を効果的に設定する必要がある。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |      |       |

事務事業番号＜3＞

|           |                                                                                                                                                                                                                                              |      |       |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------|
| 重 点 目 標   | 【重点目標4】                                                                                                                                                                                                                                      |      |       |
| 事 務 事 業 名 | 特色ある学校づくりⅠ                                                                                                                                                                                                                                   | 担当部署 | 学校教育課 |
| 事 業 実 績   | <p>健やかな体の育成と体力の向上を目指し、各種体育事業に取り組んだ。</p> <p>① 小学校陸上交歓記録会（両小学校の6年生対象）<br/>11月6日（水） 会場：大山崎小学校</p> <p>② 小学校マラソン大会<br/>＜大山崎小学校＞ 1月29日（水）<br/>＜第二大山崎小学校＞ 11月20日（水）</p> <p>③ 中学校部活動<br/>✓ 各種部活動に取り組んだ。<br/>※ 活動の成果は、事務事業番号＜6＞特色ある学校づくりⅣに記載している。</p> |      |       |
| 成 果       | <ul style="list-style-type: none"> <li>マラソン大会は年中行事となっており、体力・運動能力を高める機会となっている。</li> <li>小学校陸上交歓記録会が実施され、両小学校の6年生が運動を通じて交流する良い機会となった。</li> </ul>                                                                                               |      |       |
| 課 題 認 識   | <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校陸上交歓記録会は、コロナ禍のために2校間交流ができなかったが、今年度から再開できたところであり、今後も、中学進学前の交流を深めるために継続して実施していく必要がある。</li> <li>部活動では、生徒の技能向上に向け、外部指導者を活用していたが、今年度府教育委員会の配置がなくなったこともあり、本町としても地域移行・地域展開に向け、検討を進める必要がある。</li> </ul>     |      |       |

事務事業番号＜4＞

| 重 点 目 標   | 【重点目標1】【重点目標3】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |      |       |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------|
| 事 務 事 業 名 | 特色ある学校づくりⅡ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 担当部署 | 学校教育課 |
| 事 業 実 績   | <p>確かな学力の育成と、規範意識の醸成や他者への思いやりなど豊かな心の育成を目指し、体験活動などに取り組んだ。</p> <p>① 仕事・文化体験事業<br/>         ＜大山崎小学校 4年生＞<br/>         【実施日】5月～11月<br/>         【実施内容】大山崎町の伝統的な作物であるエゴマの栽培と収穫<br/>         ＜第二大山崎小学校 4年生＞<br/>         【実施日】12月21日（水）<br/>         【実施内容】生け花体験<br/>         ＜大山崎中学校 2年生＞<br/>         ✓ コロナ禍のため中止していた「職場体験活動」を再開し、中学2年生が大山崎町内の事業所で活動した。<br/>         【実施日】9月3日（火）、4日（水）<br/>         【実施内容】大山崎町内の事業所における2日間の職業体験</p> <p>② 保幼小連携事業<br/>         保幼小連携部会を開催し、事業内容を検討した。両小学校と町内の各園とで体験入学等の事業を実施した。</p> |      |       |
| 成 果       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大山崎小学校では、エゴマ体験事業でのクッキング等は実施できなかったが、歴史的に本町と関わりの深いエゴマの栽培・搾油等を通じて歴史・文化的学習の機会を提供することができた。</li> <li>・ 第二大山崎小学校では、生け花体験を実施し、伝統的な文化に触れる機会となった。</li> <li>・ 「職場体験」では、様々な職業を実体験できる貴重な機会となっており、生徒が進路選択する意思や意欲を培う場となっている。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                               |      |       |
| 課 題 認 識   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仕事・文化体験事業は、得たものや学んだことを生かし、地域の伝統文化への関心や職業観の醸成が図られる貴重な活動である。今後、エゴマを利用したクッキング等、内容の充実を図れるよう活動を計画する必要がある。</li> <li>・ 職場体験では受け入れる事業所が少なく、生徒の希望にそわないケースも多々あるため、今後、更なる事業所の開拓等が必要となる。</li> <li>・ 保幼小連携事業は、令和5年度から保幼小連携部会を再開することができたが、さらに、今年度の取組を踏まえ、保育所・幼稚園などと小学校との円滑な接続について検討する必要がある。</li> </ul>                                                                                                                                                                               |      |       |

事務事業番号＜5＞

|           |                                          |                   |       |
|-----------|------------------------------------------|-------------------|-------|
| 重 点 目 標   | 【重点目標5】                                  |                   |       |
| 事 務 事 業 名 | 特色ある学校づくりⅢ                               | 担当部署              | 学校教育課 |
| 事 業 実 績   | 信頼を高める学校づくりを推進するため、休業日等を活用した授業・行事等を実施した。 |                   |       |
|           | ① 休業日等の授業・・・振替休日あり                       |                   |       |
|           | ＜大山崎小学校＞                                 |                   |       |
|           | 実施日                                      | 内容                |       |
|           | 5月25日(土)                                 | 授業参観、学校説明会、       |       |
|           | 10月19日(土)                                | 運動会               |       |
|           | ＜第二大山崎小学校＞                               |                   |       |
|           | 実施日                                      | 内容                |       |
|           | 6月1日(土)                                  | 授業参観、学校説明会、PTA 総会 |       |
|           | 10月19日(土)                                | 運動会               |       |
| 成 果       | ＜大山崎中学校＞                                 |                   |       |
|           | 実施日                                      | 内容                |       |
|           | 6月7日(土)                                  | 学校公開、教育課程説明会      |       |
|           | ② 教育課程外としての休業日等を活用                       |                   |       |
|           | ＜中学校＞                                    |                   |       |
| 課 題 認 識   | ✓ 各種部活動に取り組んだ。(再掲「事務事業番号 6」)             |                   |       |
|           | ③ 学校だよりやホームページなどの活用                      |                   |       |
|           | ✓ 学校から家庭や地域社会への情報発信を積極的に行なった。            |                   |       |

事務事業番号＜6＞

|           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |      |       |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------|
| 重 点 目 標   | 【重点目標1】【重点目標3】【重点目標 10】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |      |       |
| 事 務 事 業 名 | 特色ある学校づくりⅣ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 担当部署 | 学校教育課 |
| 事 業 実 績   | <p>確かな学力の育成と家庭の教育力の向上を目指し、部活動やコンクール活動など、課外活動に取り組んだ。</p> <p>① リーフレット「大山崎っ子できます 10」の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 小中学校で身に付けてほしい 10 項目の取組を定め、達成するために小学校低学年、中学年、高学年、中学生の4段階に分け、学年ごとに目当てを示した「大山崎っ子 できます 10」を作成した。</li> <li>✓ 各教室での掲示や学校だよりでの紹介を行い、毎日の生活で意識することや、保護者への啓発と協力依頼を実施した。</li> <li>✓ 学校評価における児童生徒や保護者へのアンケート調査の項目に盛り込み、目標項目に対して達成状況を把握した。</li> </ul> <p>② 作品応募の成績や部活動の実績(抜粋:掲載以外にも多数あり)</p> <p>&lt;大山崎小学校&gt;</p> <p>「全国教育美術展」 佳作7名、入選4名</p> <p>&lt;第二大山崎小学校&gt;</p> <p>「全国教育美術展」 入賞 2 名、佳作13名</p> <p>&lt;大山崎中学校&gt;</p> <p>「京都府吹奏楽コンクール中学校の部A」 金賞</p> <p>「緑化ポスターコンクール」 佳作2名</p> <p>「愛鳥週間ポスターコンクール」 努力賞4名</p> <p>「全日本中学生水の作文コンクール」 努力賞 1 名</p> <p>③ 体育系部活動</p> <p>&lt;乙訓夏季大会(団体)&gt;</p> <p>男子卓球 準優勝</p> <p>&lt;乙訓新人大会(団体)&gt;</p> <p>女子バレーボール 優勝</p> <p>男子バスケットボール 優勝</p> |      |       |
| 成 果       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本町教育振興基本計画を踏まえ、日々の生活の中で大切にしたいことや9年間を通して醸成したい項目を統一して掲げ、各家庭へも啓発したことにより、これに基づき一貫性のある指導と協力が得られ、挨拶や時間を大切にするなどの項目をはじめ効果が上がっている。</li> <li>・ 日頃の学習や部活動によって得た能力を発揮することができ、意欲の向上につながっている。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |      |       |

|         |                                                                                                                                                                                                |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 課 題 認 識 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教職員への周知や保護者への啓発をはじめ、学校教育だけではなく、保護者や地域住民を含め広く広報活動が必要である。</li> <li>・ 教科内の時間において応募作品に取り組むことは難しく、家庭での課題学習となり、全員が取り組むことや作品へのアドバイスができない状況となっている。</li> </ul> |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

事務事業番号<7>

| 重 点 目 標   | 【重点目標6】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |      |       |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------|
| 事 務 事 業 名 | いじめ問題への取り組み                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 担当部署 | 学校教育課 |
| 事業実績      | <p>いじめのない楽しい学校づくりを目指し、いじめ問題や人権教育に学校として取り組んだ。</p> <p>① いじめ問題への取組の徹底<br/>         全校児童生徒を対象とした2回(1・2学期1回)のいじめ問題調査等<br/>         ✓ 調査方法: アンケート及び面接調査による実態把握<br/>         ✓ 調査結果を学校評議員(第二大山崎小学校及び大山崎中学校は、令和6年度中に「学校運営協議会委員」に変更)やPTA本部役員に説明<br/>         ※ 2回目追跡調査(3月)は、2回目調査で認知した本人への確認と教員による調査(日常の観察等)</p> <p>② 人権教育の学校の取組<br/>         &lt;大山崎小学校&gt;<br/>         人権週間の設定、学年毎の人権学習、学年集会、人権の花<br/>         &lt;第二大山崎小学校&gt;<br/>         人権週間の設定、学年毎の人権学習、人権の花<br/>         &lt;大山崎中学校&gt;<br/>         人権週間の設定、学年毎の人権学習、教育相談の実施(1・2学期)<br/>         同和問題をテーマにした校内研修、乙訓人権擁護委員による人権学習参観</p> <p>③ 学校におけるいじめ防止基本方針の研修実施(平成26年度より)及び校内いじめ防止対策委員会の定期的に(概ね隔週)開催</p> <p>④ 町いじめ防止対策推進委員会(専門職5人)を年2回開催<br/>         乙訓いじめ防止連絡協議会(乙訓の小中学校生徒指導主任)を年1回開催し、向日町警察署による「いじめ問題で相談・対応できること」について講演を受けた。</p> |      |       |
| 成 果       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンケート及び面接による調査により、児童生徒の「いやな思いをした」という実態の把握や確認ができ、適切な指導をすることができた。</li> <li>・ いじめ調査の追跡調査では、すべて解消となった。</li> <li>・ 学校における、いじめ防止基本方針に沿って、年度当初の確認や校内いじめ防止対策委員会を定期的な開催したことにより、教員のいじめに関する意識を高めることができた。</li> <li>・ 町いじめ防止対策推進委員会では、困難なケースについて適切な指導助言を受けることができた。</li> <li>・ 乙訓いじめ防止連絡協議会では、向日町警察署による講演を実施するなど、警察との連携強化を図ることができた。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |      |       |

|                |                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>課 題 認 識</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• いじめは、どの学校・学級でも起こり得るものであり、どの児童生徒でもいじめる側、いじめられる側、発見する側になるという認識のもと、教員の人権感覚を高めるとともに、いじめの未然防止、早期発見・早期対応をはじめ、いじめを許さない学校づくりへの組織的な取組の徹底が引き続き重要である。</li> <li>• いじめ調査の追跡調査では、すべて解消となっているが、更なる児童生徒の実態の把握するため、GIGA 端末を利用したアプリの導入も検討する必要がある。</li> </ul> |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

事務事業番号＜8＞

| 重 点 目 標   | 【重点目標2】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |      |       |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------|
| 事 務 事 業 名 | 特別支援教育推進事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 担当部署 | 学校教育課 |
| 事業実績      | <p>一人一人を大切にした教育の実施を目指し、特別な支援を要する児童・生徒に対する特別支援教育を推進した。</p> <p>① 特別支援学級の設置<br/>         ＜大山崎小学校＞ 5学級(知的:2学級、自閉症・情緒:3学級)<br/>         ＜第二大山崎小学校＞ 2学級(知的:1学級、自閉症・情緒:1学級)<br/>         ＜大山崎中学校＞ 2学級(知的:1学級、自閉症・情緒:1学級)</p> <p>② 通級指導教室の設置<br/>         ＜大山崎小学校＞ 2学級<br/>         ＜第二大山崎小学校＞ 1学級<br/>         ＜大山崎中学校＞ 1学級</p> <p>③ 個別の特別支援教育の充実 特別支援教育支援員(町単費)の配置<br/>         ＜大山崎小学校＞ 5人<br/>         ＜第二大山崎小学校＞ 5人<br/>         ＜大山崎中学校＞ 1人</p> <p>④ 大山崎町教育支援委員会<br/>         ✓ 総会(年3回開催)<br/>         ✓ 就学前部会(年2回開催)<br/>         ✓ 在学部会(年2回開催)<br/>         ✓ 各幼稚園、保育所への参観(9月)<br/>         ✓ 保護者と就学についての協議</p> <p>※ 該当未就学児童の保護者に対し、教育支援委員会の審議結果を、経過も含めてより丁寧に説明し、適切な就学指導に繋げるため、従来は所属機関の長のみから説明を行っていたが、新たに就学先校長や事務局も参画して、保護者と十分な就学相談を実施した上で、就学先を決定した。</p> |      |       |
| 成 果       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別支援教育支援員の配置により町内小中学校の特別支援学級では、個々の児童生徒に個別に対応でき、学校生活面においても、情緒の安定につながった。また、学力向上にもつながってきている。</li> <li>・ 通級指導教室が町立小中学校に設置されてから、小学校と中学校の連携が年々深まってきている。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |      |       |
| 課 題 認 識   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別支援学校見解の児童の在籍や、通常学級における特別な支援が必要となる児童生徒の在籍割合が多くなる中で、組織的な支援体制を確立することが重要であり、さらに個に応じた指導を充実する必要がある</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |      |       |

事務事業番号＜9＞

|                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                              |    |    |    |    |      |    |       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|------|----|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|
| 重 点 目 標                                                                                                                                                                                                                                              | 【重点目標7】                                                                                                                                                                      |    |    |    |    |      |    |       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |
| 事 務 事 業 名                                                                                                                                                                                                                                            | 適応指導教室事業                                                                                                                                                                     |    |    |    |    | 担当部署 |    | 学校教育課 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |
| 事 業 実 績                                                                                                                                                                                                                                              | 指導体制の充実を図り、社会的自立に向けた不登校児童生徒への組織的・計画的な支援を目指し、適応指導教室事業に取り組んだ。                                                                                                                  |    |    |    |    |      |    |       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |
|                                                                                                                                                                                                                                                      | ① 大山崎町適応指導教室「たけのこ教室」について                                                                                                                                                     |    |    |    |    |      |    |       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |
|                                                                                                                                                                                                                                                      | 【設置の目的】<br>小中学校に在籍する不登校児童生徒の自立を促し、学校への適応を図るため、適応指導教室「たけのこ教室」を設置する。                                                                                                           |    |    |    |    |      |    |       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |
|                                                                                                                                                                                                                                                      | 【設置場所】<br>大山崎町立中央公民館                                                                                                                                                         |    |    |    |    |      |    |       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |
|                                                                                                                                                                                                                                                      | 【開室日時】<br>毎週火・水・金曜日（祝日・長期休業日を除く）<br>午前9時 30 分から正午まで                                                                                                                          |    |    |    |    |      |    |       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |
|                                                                                                                                                                                                                                                      | 【指導体制】<br>適応指導教室指導員3名<br>教育相談員（公認心理師・臨床心理士・社会福祉士）4名<br>心の居場所サポーター 1 名                                                                                                        |    |    |    |    |      |    |       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |
|                                                                                                                                                                                                                                                      | ② 取組内容                                                                                                                                                                       |    |    |    |    |      |    |       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |
|                                                                                                                                                                                                                                                      | 【運営会議】<br>第1回（4月12日）<br>指導内容、業務内容、環境整備、学校との連携、について<br>第2回（7月19日）<br>1学期の総括、2学期の運営、通室児童生徒の状況と今後の対応について<br>第3回（12月20日）<br>2学期の総括、3学期の運営について<br>第4回（3月14日）<br>今年度の総括、次年度の運営について |    |    |    |    |      |    |       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |
|                                                                                                                                                                                                                                                      | 【小中連絡会】<br>運営会議後に各校を訪問し、運営会議の協議内容を各校の教育相談担当者と共有、通室児童生徒や不登校児童生徒について共有した。                                                                                                      |    |    |    |    |      |    |       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |
|                                                                                                                                                                                                                                                      | 【個別ケース会議】<br>各校の教育相談担当者、たけのこ教室相談員と情報共有し、最適な支援の在り方を検討した。                                                                                                                      |    |    |    |    |      |    |       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |
| 【入室（申込み）状況】 <div style="text-align: right;">（単位：人）</div>                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                              |    |    |    |    |      |    |       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |
| <table><tr><td>小1</td><td>小2</td><td>小3</td><td>小4</td><td>小5</td><td>小6</td><td>中1</td><td>中2</td><td>中3</td><td>合計</td></tr><tr><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>3</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td><td>10</td></tr></table> |                                                                                                                                                                              |    |    |    |    |      |    |       |    | 小1 | 小2 | 小3 | 小4 | 小5 | 小6 | 中1 | 中2 | 中3 | 合計 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 3 | 1 | 2 | 2 | 10 |
| 小1                                                                                                                                                                                                                                                   | 小2                                                                                                                                                                           | 小3 | 小4 | 小5 | 小6 | 中1   | 中2 | 中3    | 合計 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |
| 0                                                                                                                                                                                                                                                    | 1                                                                                                                                                                            | 0  | 1  | 0  | 3  | 1    | 2  | 2     | 10 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |
| < 基本的な指導内容 ><br>朝の会、学習①、学習②、自由活動、終わりの会                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                              |    |    |    |    |      |    |       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |

|           | <p>&lt;体験学習・社会見学&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月 日</th><th>内 容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>5月17日(金)</td><td>町体育館へ行こう(卓球・バドミントン)</td></tr> <tr><td>6月11日(火)</td><td>町体育館へ行こう(卓球・バドミントン・風船バレー)</td></tr> <tr><td>6月18日(火)</td><td>ぷっくりシールを作ろう</td></tr> <tr><td>7月 2日(水)</td><td>七夕飾りを作ろう</td></tr> <tr><td>9月 3日(火)</td><td>焼きそば作りにチャレンジしよう</td></tr> <tr><td>9月20日(金)</td><td>科学のチカラ☆不思議を発見</td></tr> <tr><td>10月 4日(金)</td><td>町体育館へ行こう(卓球・バドミントン・ドッチビー)</td></tr> <tr><td>10月15日(火)</td><td>プラ板キーホルダーを作ろう</td></tr> <tr><td>10月30日(水)</td><td>ハロウィンを楽しもう</td></tr> <tr><td>11月19日(火)</td><td>町体育館へ行こう(卓球・バドミントン・紙飛行機とばし)</td></tr> <tr><td>12月13日(金)</td><td>タコライス&amp;チョコバナナ作りにチャレンジしよう</td></tr> <tr><td>1月17日(金)</td><td>町体育館へ行こう(卓球・バドミントン・)</td></tr> <tr><td>2月18日(火)</td><td>町体育館へ行こう(卓球・バドミントン・モルック)</td></tr> <tr><td>2月25日(火)</td><td>1年間のまとめ(色紙作り)</td></tr> <tr><td>3月7日(金)</td><td>お好み焼き&amp;ミニパフェ作りにチャレンジしよう</td></tr> </tbody> </table> | 月 日 | 内 容 | 5月17日(金) | 町体育館へ行こう(卓球・バドミントン) | 6月11日(火) | 町体育館へ行こう(卓球・バドミントン・風船バレー) | 6月18日(火) | ぷっくりシールを作ろう | 7月 2日(水) | 七夕飾りを作ろう | 9月 3日(火) | 焼きそば作りにチャレンジしよう | 9月20日(金) | 科学のチカラ☆不思議を発見 | 10月 4日(金) | 町体育館へ行こう(卓球・バドミントン・ドッチビー) | 10月15日(火) | プラ板キーホルダーを作ろう | 10月30日(水) | ハロウィンを楽しもう | 11月19日(火) | 町体育館へ行こう(卓球・バドミントン・紙飛行機とばし) | 12月13日(金) | タコライス&チョコバナナ作りにチャレンジしよう | 1月17日(金) | 町体育館へ行こう(卓球・バドミントン・) | 2月18日(火) | 町体育館へ行こう(卓球・バドミントン・モルック) | 2月25日(火) | 1年間のまとめ(色紙作り) | 3月7日(金) | お好み焼き&ミニパフェ作りにチャレンジしよう |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|----------|---------------------|----------|---------------------------|----------|-------------|----------|----------|----------|-----------------|----------|---------------|-----------|---------------------------|-----------|---------------|-----------|------------|-----------|-----------------------------|-----------|-------------------------|----------|----------------------|----------|--------------------------|----------|---------------|---------|------------------------|
| 月 日       | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |     |     |          |                     |          |                           |          |             |          |          |          |                 |          |               |           |                           |           |               |           |            |           |                             |           |                         |          |                      |          |                          |          |               |         |                        |
| 5月17日(金)  | 町体育館へ行こう(卓球・バドミントン)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |     |     |          |                     |          |                           |          |             |          |          |          |                 |          |               |           |                           |           |               |           |            |           |                             |           |                         |          |                      |          |                          |          |               |         |                        |
| 6月11日(火)  | 町体育館へ行こう(卓球・バドミントン・風船バレー)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |     |     |          |                     |          |                           |          |             |          |          |          |                 |          |               |           |                           |           |               |           |            |           |                             |           |                         |          |                      |          |                          |          |               |         |                        |
| 6月18日(火)  | ぷっくりシールを作ろう                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |     |     |          |                     |          |                           |          |             |          |          |          |                 |          |               |           |                           |           |               |           |            |           |                             |           |                         |          |                      |          |                          |          |               |         |                        |
| 7月 2日(水)  | 七夕飾りを作ろう                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |     |     |          |                     |          |                           |          |             |          |          |          |                 |          |               |           |                           |           |               |           |            |           |                             |           |                         |          |                      |          |                          |          |               |         |                        |
| 9月 3日(火)  | 焼きそば作りにチャレンジしよう                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |     |     |          |                     |          |                           |          |             |          |          |          |                 |          |               |           |                           |           |               |           |            |           |                             |           |                         |          |                      |          |                          |          |               |         |                        |
| 9月20日(金)  | 科学のチカラ☆不思議を発見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |     |     |          |                     |          |                           |          |             |          |          |          |                 |          |               |           |                           |           |               |           |            |           |                             |           |                         |          |                      |          |                          |          |               |         |                        |
| 10月 4日(金) | 町体育館へ行こう(卓球・バドミントン・ドッチビー)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |     |     |          |                     |          |                           |          |             |          |          |          |                 |          |               |           |                           |           |               |           |            |           |                             |           |                         |          |                      |          |                          |          |               |         |                        |
| 10月15日(火) | プラ板キーホルダーを作ろう                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |     |     |          |                     |          |                           |          |             |          |          |          |                 |          |               |           |                           |           |               |           |            |           |                             |           |                         |          |                      |          |                          |          |               |         |                        |
| 10月30日(水) | ハロウィンを楽しもう                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |     |     |          |                     |          |                           |          |             |          |          |          |                 |          |               |           |                           |           |               |           |            |           |                             |           |                         |          |                      |          |                          |          |               |         |                        |
| 11月19日(火) | 町体育館へ行こう(卓球・バドミントン・紙飛行機とばし)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |     |     |          |                     |          |                           |          |             |          |          |          |                 |          |               |           |                           |           |               |           |            |           |                             |           |                         |          |                      |          |                          |          |               |         |                        |
| 12月13日(金) | タコライス&チョコバナナ作りにチャレンジしよう                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |     |     |          |                     |          |                           |          |             |          |          |          |                 |          |               |           |                           |           |               |           |            |           |                             |           |                         |          |                      |          |                          |          |               |         |                        |
| 1月17日(金)  | 町体育館へ行こう(卓球・バドミントン・)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |     |     |          |                     |          |                           |          |             |          |          |          |                 |          |               |           |                           |           |               |           |            |           |                             |           |                         |          |                      |          |                          |          |               |         |                        |
| 2月18日(火)  | 町体育館へ行こう(卓球・バドミントン・モルック)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |     |     |          |                     |          |                           |          |             |          |          |          |                 |          |               |           |                           |           |               |           |            |           |                             |           |                         |          |                      |          |                          |          |               |         |                        |
| 2月25日(火)  | 1年間のまとめ(色紙作り)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |     |     |          |                     |          |                           |          |             |          |          |          |                 |          |               |           |                           |           |               |           |            |           |                             |           |                         |          |                      |          |                          |          |               |         |                        |
| 3月7日(金)   | お好み焼き&ミニパフェ作りにチャレンジしよう                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |     |     |          |                     |          |                           |          |             |          |          |          |                 |          |               |           |                           |           |               |           |            |           |                             |           |                         |          |                      |          |                          |          |               |         |                        |
| 成 果       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ たけのこ教室での児童生徒の活動の状況や、個別の支援の在り方について、各校と連携を図り教室運営にあたることができた。</li> <li>・ 通室にあたって、保護者や児童生徒本人との面談を通して、通室内容や通室日など、個々の状況やニーズに応じた通室の仕方を確認しながら通室を進めることができた。中学校と連携しながら進路指導の支援を実施することができた。</li> <li>・ 指導員や教育相談員による毎日の記録をもとに、毎月のたけのこ教室出席状況や様子について報告書を作成し、児童生徒の頑張りや課題を各学校と共有することができた。</li> <li>・ 学校でのケース会議に参加し、不登校改善に向けて連携することができた。</li> <li>・ 体験学習等の実施により、指導内容の選択の幅が広がり、更に充実した活動ができた。</li> <li>・ ICTを活用した学習や体験活動を実施することで、より一層、個に応じた支援ができた。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |     |     |          |                     |          |                           |          |             |          |          |          |                 |          |               |           |                           |           |               |           |            |           |                             |           |                         |          |                      |          |                          |          |               |         |                        |
| 課 題 認 識   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本人や保護者への働きかけ方法などについて、学校と共通理解のもとそれぞれの関係機関からのアプローチを検討するため、計画的にケース会議を実施する必要がある。</li> <li>・ 学校との連携により、申込みまでスムーズに進むが、家から出られない不登校の児童生徒に対しては、状況に応じて教育相談員と担当指導主事で家庭訪問などのアウトリーチを検討していく必要がある。</li> <li>・ 教育相談・カウンセリングの要望等が増え、個別の状況に応じて様々な支援が必要とされる中、週5日開設などについて検討を要する。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |     |     |          |                     |          |                           |          |             |          |          |          |                 |          |               |           |                           |           |               |           |            |           |                             |           |                         |          |                      |          |                          |          |               |         |                        |

事務事業番号＜10＞

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |      |       |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------|
| 重点目標  | 【重点目標4】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |      |       |
| 事務事業名 | 小中学校給食                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 担当部署 | 学校教育課 |
| 事業実績  | <p>健やかな体の育成と体力の向上、望ましい食習慣の実践を目指し、学校給食運営事業に取り組んだ。</p> <p>① 町立小中学校給食実施（令和6年5月現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 小学校喫食児童数 911 人</li> <li>✓ 中学校喫食生徒数 402 人</li> </ul> <p>※ 米飯給食は週4回</p> <p>② 安心・安全な給食を実施するための衛生管理及び食中毒防止対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 薬剤師会の定期検査を実施した。</li> <li>✓ 給食室害虫駆除、調理従事員等保菌検査等を実施した。</li> </ul> <p>③ 学校給食調理等業務委託実施（町立小中学校）</p> <p>④ 給食費の値上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 令和6年4月1日付で給食費を値上げ（小学校 25円、中学校 26円）</li> </ul> |      |       |
| 成果    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染症対策に十分配慮しながら、学校給食を実施することができた。</li> <li>・ 自校給食を安全に提供するために、学校給食衛生管理基準に準拠した施設整備に着手することができた。</li> <li>・ 府主催の衛生研修会に、給食調理員・栄養教諭（職員）が参加し、能力の向上に取り組んだ。</li> <li>・ 物価高騰下における安定的な給食提供のため、給食の質の担保と保護者負担のバランスを考慮し、適切な給食費の値上げを実施した。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                             |      |       |
| 課題認識  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 給食費の値上げを実施したが、今後も物価高の状況を注視するとともに、献立の創意工夫により質を維持しながらバランスの取れた給食を提供することが必要である。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |      |       |

事務事業番号<11>

| 重点目標  | 【重点目標5】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |      |       |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------|
| 事務事業名 | 教師力向上事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 担当部署 | 学校教育課 |
| 事業実績  | <p>信頼を高める学校づくりを担う教員の教師力向上を目指し、各種研修等を実施した。</p> <p>① 大山崎町学力向上対策会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 全国学力・学習状況調査(小6、中3)を実施し、現状の把握、課題克服に向けた方策の検討や分析を各校で実施した。</li> <li>✓ さらに、乙訓学力向上対策会議において、分析結果や自校の実践・評価等を振り返り、子どもたちの学力状況を共通確認した。</li> </ul> <p>② 大山崎町小中連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 町小中連携部会で事業を検討し、「小学校授業公開」「小中連携研修会」「部活動体験」等を実施した。</li> </ul> <p>③ 町立小・中学校新規採用者等教職員研修会</p> <p>【開催日】7月31日(水)11時から12時</p> <p>【対象者】初任者及び今年度初めて常勤講師となった者</p> <p>【参加者】5名</p> <p>【内容】教育長の講話並びに町の指導の重点</p> <p>④ 町立小・中学校新規着任者教職員研修会</p> <p>【対象者】本年度初めて町立学校に着任した教職員</p> <p>【開催日】7月31日(水)13時15分から15時15分</p> <p>【参加者】11名</p> <p>【内容】町の防災及び歴史と地域性について講話・現地学習(瓦窯跡)</p> <p>⑤ 町立小・中学校教職員全体研修会</p> <p>【対象者】大山崎町立小中学校教職員</p> <p>【開催日】7月30日(火)13時30分～15時00分</p> <p>【テーマ】不登校への支援と対応 -発達特性と環境へのアプローチ-</p> <p>講師:京都教育大学 教育創生リージョナルセンター機構<br/>総合臨床センター 講師 鈴木 英太 氏</p> <p>⑥ 指導主事・教育委員学校訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「学校教育の重点」の実現に向けた教育活動の充実を図るため、指導主事学校訪問を全校で実施し、教育委員も参加した。</li> </ul> |      |       |
| 成果    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「乙訓学力向上対策会議」および「大山崎町学力対策会議」の場において、分析結果や自校の実践・評価等を振り返り、子どもたちの学力状況を共通確認することができた。</li> <li>・「町立小・中学校新規採用者等教職員研修会」は、教員としての使命感等を高める研修会となった。</li> <li>・「町立小・中学校新規着任者教職員研修会」は、町の防災や歴史等について学ぶ機会となった。</li> <li>・現在、不登校の増加や発達課題のある児童生徒の対応などが課題となっており、その課題に焦点をあてた「町立小・中学校教職員全体研</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |      |       |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | <p>修会」を開催することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導主事や教育委員による学校訪問により、各学校の状況が把握できた。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 課 題 認 識 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小中連携事業では、児童生徒や学校の状況を踏まえながら、小中連携に関わる事業等の充実を図る必要がある。</li> <li>・ 町立小・中学校教職員全体研修会は、不登校の増加や発達課題のある児童生徒の対応などが課題となっている実態を踏まえ、さらに効果的な研修となるよう、内容を検討していく必要がある。</li> <li>・ 若手教職員が増えていく中、ミドルリーダー及び若手教職員の育成と授業力向上に向けた研鑽が今後の課題である。</li> <li>・ 町立小・中学校新規着任者教職員研修会は、町の防災や歴史等を学ぶ良い機会ではあるが、夏季休業中の開催であるため、現地学習について再度検討していく必要がある。</li> </ul> |

事務事業番号<12>

| 重点目標  | 【重点目標6】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |      |       |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------|
| 事務事業名 | 子どもの安心・安全に関する事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 担当部署 | 学校教育課 |
| 事業実績  | <p>安心・安全な学校づくりを目指し、通学路安全対策などに取り組んだ。</p> <p>① 大山崎町子どもの移動経路・通学路安全推進会議の実施<br/>【実施日】9月27日(金)<br/>【参加機関】<br/>近畿地方整備局京都国道事務所、乙訓土木事務所、向日町警察署、見守り隊代表、PTA代表、校長会代表、保育所代表、乙訓教育局、建設課、経済環境課、総務課、福祉課、教育委員会</p> <p>✓ 従前の対策必要箇所の進捗状況の確認と新規対策必要箇所の選定をした(交通安全面:継続10箇所、新規6箇所、令和6年度完了予定6箇所)。また、スライドによる合同点検を行い、対策必要箇所の確認を実施した。</p> <p>✓ 「大山崎町子どもの移動経路／通学路安全推進プログラム」には未就学児の移動経路も対象に含むため、幼稚園・保育所等の代表と福祉課が参加し、合同で検討した。</p> <p>② その他ソフト面の取組</p> <p>✓ 通学路の要所について、登下校時間帯に交通指導員を配置した。</p> <p>✓ 不審者情報などに基づき、青色パトロール車による防犯活動等を実施した。</p> |      |       |
| 成果    | <ul style="list-style-type: none"> <li>通学路安全推進会議を開催し、対策必要箇所の状況把握や合同点検を通して、安全対策及び防犯対策に向けて関係諸機関と連携することができた。</li> <li>結果、6箇所が令和6年度完了予定となり、令和7年度には危険箇所が減少する見込みである。</li> <li>円明寺地域における道路側溝の暗渠化による歩行空間の拡幅や、グリーンベルトによる歩行空間の明示、車の速度減少を意識させる舗装のカラー明示など、会議で取り上げている箇所の対策が進められていることが確認できた。</li> <li>年間を通した子ども安全見守り隊、PTAによる安全指導の継続的な取組、交通指導員の通年配置、青色パトロール車による防犯活動等、ソフト面では地域ぐるみで連携した安心・安全の確保が浸透している。</li> </ul>                                                                                                         |      |       |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 課 題 認 識 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開発等により新たな道路ができるなど、道路事情の変化に対応した更なる取組が必要であり、今後も関係機関の連携による継続的な確認と点検、対策の取組が求められる。</li> <li>・ 防災、防犯対応も含めた更なる安全教育が不可欠である。</li> <li>・ 危険箇所の選定後も、特に長期的な改善を目指している地点については、その認識を各機関が共有する必要がある、定期的な進捗確認と情報共有が必要である。</li> <li>・ 長期的な対応になることを見越した暫定的な対応も状況に応じて必要になる（例：長期・・・道路用地購入後、歩道を拡幅整備 暫定的な措置・・・グリーンベルトによる歩行空間の明示）。</li> <li>・ 「子どもの移動経路・通学路安全推進会議」を毎年実施し、町内道路状況の変化に合わせた新たな危険箇所の抽出、また必要な安全対策及び防犯対策を検討する必要がある。</li> <li>・ 中学校部活動後の下校時、小学校放課後児童クラブ後の下校時、小学校放課後子供教室後の下校時について、冬季は日没後の時間帯となるため、関係機関で連携のうえ、地域での見守り等の安全対策を検討する必要がある。</li> <li>・ 未就学児の移動経路については、通学路と重なるところが多いため、安全対策及び防犯対策にあたっては、関係機関と連携して検討・実施する必要がある。</li> </ul> |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

事務事業番号<13>

|           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |      |       |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------|
| 重 点 目 標   | 【重点目標7】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |      |       |
| 事 務 事 業 名 | 幼児教育振興事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 担当部署 | 学校教育課 |
| 事 業 実 績   | <p>一貫性、継続性を大切にした教育の推進を目指し、幼児教育振興事業に取り組んだ。</p> <p>① 大山崎町私立幼稚園設備費補助金<br/>町内私立幼稚園の設備・備品購入経費に対し、補助金を交付した。<br/>【実績額】210,000 円</p> <p>② 大山崎町乙訓私立幼稚園協会研究補助金<br/>乙訓市立幼稚園協会が実施する教育研究事業を実施するための経費を対象に補助金を交付した。<br/>【対象】乙訓私立幼稚園協会<br/>【実績額】65,000 円</p> <p>③ 大山崎町私立幼稚園心身障害児教育振興補助金<br/>心身障害児を保育する町内私立幼稚園に対し、心身障害児教育の振興と充実を目的とした補助金を交付した。<br/>【対象園児】3 名<br/>【支給額】98,000 円(一人あたり 98,000 円)</p> <p>④ 大山崎町私立幼稚園健康診断補助金<br/>町内私立幼稚園に園児の健康診断にかかる経費に対し、補助金を交付した。<br/>【実績額】88,536 円</p> <p>⑤ 子育てのための施設等利用給付<br/>私立幼稚園に通園する町内在住の児童に対し、満 3 歳の誕生日の前日から施設等の利用を「幼児教育・保育無償化」の対象として補助金を交付した。<br/>【補助上限月額】25,700 円／人<br/>【新制度未移行幼稚園】園児 208 人<br/>【総額】60,156,186 円</p> <p>⑥ 大山崎町実費徴収にかかる補足給付事業<br/>給食費のうち副食費にかかる補助申請をした者(第3子及び低所得者対象)に対し、年2回補助金を交付した。<br/>【対象園児】23 人<br/>【実績額】522,300 円</p> |      |       |
| 成 果       | <ul style="list-style-type: none"> <li>各種の給付事業を通じて保護者の負担軽減に繋がった。</li> <li>各私立幼稚園補助金事業により、私立幼稚園の教育振興促進に繋げることができた。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |      |       |
| 課 題 認 識   | <ul style="list-style-type: none"> <li>幼児教育・保育無償化については、子ども・子育て支援法に基づく制度であり、今後、住民サービスや事務の効率化を考えるうえで、所管窓口の一本化を検討する必要がある。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |      |       |

事務事業番号＜14＞

|           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |      |       |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------|
| 重 点 目 標   | 【重点目標8】                                                                                                                                                                                                                                                                                         |      |       |
| 事 務 事 業 名 | 学校施設・整備事業                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 担当部署 | 学校教育課 |
| 事 業 実 績   | <p>教育効果をあげる教育環境の充実を図るため、各種の整備、修繕工事等を実施した。</p> <p>＜大山崎小学校＞<br/>校内放送設備改修工事、汚水桝修繕、トイレ等不具合修繕、手洗い場天井漏水補修、音楽室電灯修繕、複合遊具撤去工事、シャッター修繕工事</p> <p>＜第二大山崎小学校＞<br/>遊具撤去、消防設備不良箇所修繕、ダムウェーター防水修繕、電気設備修繕工事、複合遊具撤去工事</p> <p>＜大山崎中学校＞<br/>体育館排煙装置修理工事、空調設備機器（ガスヒーポン）修繕、給食棟洗浄室排水溝追加整備工事、プールろ過装置改修工事、ウォータークーラー設置</p> |      |       |
| 成 果       | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校施設の老朽箇所の改修を実施し、児童生徒が安全で安心して学ぶことのできる教育環境の整備を図ることができた。</li> </ul>                                                                                                                                                                                        |      |       |
| 課 題 認 識   | <ul style="list-style-type: none"> <li>限られた財源の中で、児童生徒が安心して学校生活を送られるよう計画的な教育環境の整備に努める必要がある。</li> <li>平成 30 年度に策定した「大山崎町学校施設長寿命化計画」（個別計画）に基づいた施設の維持管理を目指す一方で、いずれの学校も経年劣化により都度改修を必要とする箇所への対応が求められる。</li> <li>多様化する社会的ニーズを捉え、施設機能の充実を検討する必要がある。</li> </ul>                                          |      |       |

事務事業番号<15>

|           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |      |       |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------|
| 重 点 目 標   | 【重点目標8】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |      |       |
| 事 務 事 業 名 | GIGA スクール事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 担当部署 | 学校教育課 |
| 事 業 実 績   | <p>教育効果をあげる教育環境の充実を図るため、児童・生徒1人1台端末（GIGA 端末）の整備等を実施した。</p> <p>① GIGA スクール事業必要物品の購入<br/>ICTを活用した授業環境をより高度化するため必要物品を購入した。</p> <p>② ICT支援員の継続雇用<br/>学校のICT環境整備を支援するICT支援員を令和 3 年度から引き続き雇用した。</p> <p>③ Chromebook の使用にかかる研修の実施<br/>町立学校に新たに赴任した教職員を対象に Chromebook 使用にかかる研修を実施した。夏休み期間に Chromebook の使用に係る習熟度を高めるため、学校の希望に応じ研修を実施した。</p> <p>④ 学習ドリルの試行導入<br/>令和 7 年度からの本格運用に向けて、学習ドリルの試行運用を実施した。費用は「働き方改革支援補助金 2024」を活用したため無償であった。</p> <p>⑤ 校務系端末及びネットワークの更新<br/>校務系端末を更新すると共に、校務系ネットワークについては「教職員の業務効率化」と「セキュリティ対策」の両立を目的に、アクセス制御モデルでの各種校務系システム及びネットワークの全面クラウド化を実施した。</p> |      |       |
| 成 果       | <ul style="list-style-type: none"> <li>必要物品の購入により、授業環境の更なる充実が図ることができた。</li> <li>ICT支援員を引き続き雇用することにより、各校のICT環境の課題解決を図ることができた。</li> <li>Chromebook の使用にかかる研修を実施したことにより、教職員の理解を深めることができた。</li> <li>学習ドリルの試行導入により、児童生徒の学習手段の選択肢が増えた。また、児童生徒の学力に応じた問題が出題されるため、個別最適な学びの実現に向けた一助となった。</li> <li>校務系端末及びネットワークの更新により、校務環境が改善され、セキュリティレベルが高まった。また、ネットワークの全面クラウド化により、働き方改革に繋がった。</li> </ul>                                                                                                                                                                                    |      |       |
| 課 題 認 識   | <ul style="list-style-type: none"> <li>教職員の Chromebook の使用に関して、引き続き十分なフォローが必要であるとともに、校務系、学習系のネットワークの安定供給及び更なる強化が必要である。ネットワークの増強の検討が必要である。</li> <li>教職員及び児童生徒の情報リテラシーを高めていくことが必要である。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |      |       |

事務事業番号＜16＞

|                                                                                                                   |                                                                |           |                         |          |                         |                                                                |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|-----------|-------------------------|----------|-------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 重 点 目 標                                                                                                           | 【重点目標11】                                                       |           |                         |          |                         |                                                                |
| 事 務 事 業 名                                                                                                         | ときめきチャレンジ推進事業<br>放課後マイプレイス事業                                   | 担当部署      | 生涯学習課<br>(生涯学習・スポーツ振興係) |          |                         |                                                                |
| 事 業 実 績                                                                                                           | 学校・家庭・地域が連携し、社会全体で子どもを健全にはぐくむ環境づくりを目指し、放課後の子どもの居場所づくり事業に取り組んだ。 |           |                         |          |                         |                                                                |
|                                                                                                                   | ＜ときめきチャレンジ推進事業＞<br>土曜日開催事業                                     |           |                         |          |                         |                                                                |
|                                                                                                                   |                                                                | 実施日       | 内 容                     | 場 所      | 参加者数                    | 講師等                                                            |
|                                                                                                                   | 1                                                              | 6 月 22 日  | ミニ三角縁神獣鏡づくり             | 中央公民館    | 19 名                    | 京都府立山城郷土資料館<br>(ふるさとミュージアム山城)                                  |
|                                                                                                                   | 2                                                              | 7 月 6 日   | 新体操体験教室                 | 第二大山崎小学校 | 23 名                    | 大山崎新体操クラブ<br>代表:森嶋 由枝 氏                                        |
|                                                                                                                   | 3                                                              | 8 月 3 日   | 竹の流しそうめん                | 桜の広場公園   | 21 名                    | 青少年健全育成協議会委員<br>ときめきチャレンジ<br>推進事業運営委員                          |
|                                                                                                                   | 4                                                              | 9 月 21 日  | 壁土塗り絵                   | 中央公民館    | 26 名                    | 京都府職業能力開発協会<br>京都左官協同組合                                        |
|                                                                                                                   | 5                                                              | 10 月 12 日 | ひげくま先生の<br>サイエンスマジック    | 中央公民館    | 33 名                    | ひげくま天体観測所<br>井本 彰 氏                                            |
|                                                                                                                   | 6                                                              | 11 月 9 日  | ときめきらテン<br>コンサート        | 大山崎小学校   | 73 名<br>(内、小学生<br>36 名) | オルケスタ山崎<br>代表:衣川 一成 氏<br>※事務事業番号27<br>「教育・文化週間関連事業<br>としても位置付け |
|                                                                                                                   | 7                                                              | 12 月 14 日 | 凧作り&凧あげ                 | 第二大山崎小学校 | 6 名                     | ときめきチャレンジ<br>推進事業運営委員                                          |
|                                                                                                                   | 8                                                              | 1 月 18 日  | 楽しい手洗いと<br>ショコラムース作り    | 中央公民館    | 20 名                    | 乙訓食品衛生協会<br>ハーミットグリーンカフェ<br>堀内 あろむ 氏                           |
|                                                                                                                   | 9                                                              | 3 月 8 日   | 剣道体験教室                  | 中央公民館    | 7 名                     | 大山崎少年剣道教室<br>代表:並川 勝信 氏                                        |
| ※ 参加者数は児童のみ                                                                                                       |                                                                |           |                         |          |                         |                                                                |
| ＜放課後マイプレイス事業＞                                                                                                     |                                                                |           |                         |          |                         |                                                                |
| 放課後に小学校の空き教室を使用し、地域のサポーター(有償ボランティア)及びシルバー人材センターで構成するスタッフ 3 名程度が見守りを行う中で、子どもたちが自由に自習や遊びができる居場所として「放課後マイプレイス」を運営した。 |                                                                |           |                         |          |                         |                                                                |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | <p>【開室日時】</p> <p>&lt;大山崎小学校&gt;<br/>原則 月・火・木・金 午後3時30分～5時 水 午後3時～5時</p> <p>&lt;第二大山崎小学校&gt;<br/>原則 月・火・木・金 午後3時30分～5時 水 午後2時30分～5時<br/>※ 毎週1回レクリエーション(カードづくり、軽スポーツ、カラオケ等)実施<br/>※ 給食開始前・終了後は午後1時から、夏休み等は午前9時から開室</p> <p>【開室場所】大山崎小:家庭科室ほか 第二大山崎小:理科室ほか</p> <p>【対象者】各小学校の2年生以上の児童</p> <p>【利用者】大山崎小:1,977名 第二大山崎小:2,418名</p>                                                                                                                                                                                                      |
| 成 果     | <p>&lt;ときめきチャレンジ推進事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加した児童数は前ページ表のとおりであるが、保護者や幼児等を含め数多くの参加が見られ、子どもたちの健やかな成長に寄与するため、地域の個人・団体の協力や京都府の派遣事業の活用により、多種多様な事業(イベント)が展開でき、土曜日午前の安心安全な居場所づくりとして一定の定着が見られる。</li> </ul> <p>&lt;放課後マイプレイス事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>放課後児童クラブの入会児童が増加し、放課後児童対策の需要が高まる中で、新たな放課後の児童の居場所として各小学校に放課後マイプレイスを開設することができた。延べ4,395名の児童生徒が参加した。</li> </ul> <p>&lt;共通&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校と地域が連携し、放課後等の児童の居場所や子どもたちにとって貴重な体験ができる機会を創出できた。</li> </ul> |
| 課 題 認 識 | <p>&lt;ときめきチャレンジ推進事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域に根差した事業とするため、ときめきチャレンジ推進事業運営委員が主体的に企画運営できるよう支援する必要がある。</li> </ul> <p>&lt;放課後マイプレイス事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>夏休みなどの長期休業期間中は、スタッフのシフトを増やすことから、余裕を持ったスタッフ人員の確保が必要である。</li> <li>ときめきチャレンジ推進事業運営委員会のメンバーなどの地域の人材を活用した運営方法も検討する必要がある。</li> </ul>                                                                                                                                                                                        |

事務事業番号<17>

|           |                                                                                                                                                                                                                                |      |                         |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------------|
| 重 点 目 標   | 【重点目標10】                                                                                                                                                                                                                       |      |                         |
| 事 務 事 業 名 | 家庭教育支援事業                                                                                                                                                                                                                       | 担当部署 | 生涯学習課<br>(生涯学習・スポーツ振興係) |
| 事 業 実 績   | <p>家庭の教育力を高めるため、「広報おおやまぎ」に“家庭教育・子育て支援特集”の記事を掲載した。</p> <p>【掲載号】「広報おおやまぎ」令和6年5月号</p> <p>【取材対象】親子サロン「スマイルプレイス for every child &amp; parent」</p>                                                                                   |      |                         |
| 成 果       | <ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援に関する具体的な情報(サロンや活動場所)を広く届けることができた。</li> <li>子育てに関する悩みを相談できる場所を広報することが、子育て家庭の孤立感の軽減につながると考えられる。</li> </ul>                                                                           |      |                         |
| 課 題 認 識   | <ul style="list-style-type: none"> <li>若年層や共働き家庭など、広報誌を読まない世帯への到達に限界があるため、今後はホームページとの連携や SNS 発信など、電子媒体による発信についても検討する必要がある。</li> <li>単発の掲載では効果が一時的であり、定期的な情報発信の場を設けるため、今後も行政や地域団体が行っている支援事業等の内容を可視化し、利用促進につなげる必要がある。</li> </ul> |      |                         |

事務事業番号<18>

|           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |      |                         |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------------|
| 重 点 目 標   | 【重点目標12】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |      |                         |
| 事 務 事 業 名 | 人権教育・啓発の推進事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 担当部署 | 生涯学習課<br>(生涯学習・スポーツ振興係) |
| 事 業 実 績   | <p>人権教育・啓発・擁護活動の推進を目指し、研修会を開催した。</p> <p>&lt;大山崎町人権教育夏季研修会&gt;</p> <p>【日時】8月31日(土)</p> <p>【課題提起】「歴史から学ぶ大山崎の身分制」</p> <p>【場所】中央公民館 大研修室</p> <p>【講師】大山崎町歴史資料館 福島 克彦 館長</p> <p>※台風接近により中止</p> <p>&lt;大山崎町人権教育冬季研修会&gt;</p> <p>【日時】12月21日(土)</p> <p>【演題】「DVと子ども～面前DVを知っていますか?～」</p> <p>【場所】中央公民館 別館2階 第1研修室</p> <p>【参加者】11名</p> <p>【講師】ウィメンズカウンセリング京都 小松 明子 氏</p> <p>※事務事業番号20「男女共同参画事業」としても位置付け</p> |      |                         |
| 成 果       | <ul style="list-style-type: none"> <li>夏季は天候不良のため残念ながら中止となったが、冬季は大山崎町男女共同参画講座・人権教育冬季研修会として、面前DVをテーマに理解を深めることができた。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                   |      |                         |
| 課 題 認 識   | <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者を広く募るため、開催日を平日から休日に変更することを試みたが、参加者数が増加しなかったため、より多くの町民に参加してもらえるように開催日時を検討するとともに周知の方法を工夫する必要がある。</li> <li>人権研修会に参加しない人、関心がない人への理解の促進方法を検討する必要がある。</li> </ul>                                                                                                                                                                                           |      |                         |

事務事業番号<19>

|           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |      |                         |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------------|
| 重 点 目 標   | 【重点目標9】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |      |                         |
| 事 務 事 業 名 | 大山崎町二十歳を祝う会事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 担当部署 | 生涯学習課<br>(生涯学習・スポーツ振興係) |
| 事 業 実 績   | <p>生涯にわたって学び合うまちづくりを目指し、人生の節目を祝う二十歳を祝う会事業を実施した。</p> <p>令和7年大山崎町二十歳を祝う会<br/> 【日時】令和7年1月13日(月・祝)<br/> 【場所】大山崎町体育館 小体育室<br/> 【内容】開会の辞(司会アナウンス)<br/> 国歌・町歌斉唱、式辞、祝辞、来賓紹介<br/> 二十歳代表者の誓いの言葉(1名)<br/> ビデオメッセージ上映<br/> 閉会の辞<br/> 集合写真<br/> 二十歳を祝う会実行委員会による催し物<br/> 【対象】新二十歳 対象149名、出席132名、出席率 88.6%<br/> 【記念品】①アサヒグループ大山崎山荘美術館の招待券(寄贈)<br/> ②今治製大山崎町章入りタオル<br/> 【その他】フォトスポット設置</p> |      |                         |
| 成 果       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ビデオメッセージは、小学6年生時(5名)及び中学3年生時の担任(3名)にご協力いただき、盛り上がっていた。</li> <li>・ 第二部の二十歳を祝う会実行委員会を募集したところ、応募があり、盛り上げていただいた。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                            |      |                         |
| 課 題 認 識   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第二部の二十歳を祝う会実行委員会による催し物を実施できたことは良い点であるが、応募者が1名のみであり、応募者に多大な負担がかかってしまったため、今後、対応を検討する必要がある。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                               |      |                         |

事務事業番号＜20＞

|           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |      |                         |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------------|
| 重 点 目 標   | 【重点目標9】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |      |                         |
| 事 務 事 業 名 | 男女共同参画事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 担当部署 | 生涯学習課<br>(生涯学習・スポーツ振興係) |
| 事 業 実 績   | <p>住民一人一人が「生涯をととして、理解し合い、学び合うまち」づくりを目指し、男女共同参画事業に取り組んだ。</p> <p>① 男女共同参画講座<br/>「大山崎町第 4 次男女共同参画計画-みとめ愛プラン-」における基本課題として「安全・安心な暮らしの実現」を謳っていることもあり、人権の擁護と男女平等の実現を図るため、講演を通じてDVへの理解を深めた。<br/>【日時】12 月 21 日(土)<br/>【演題】「DV と子ども～面前 DV を知っていますか？～」<br/>【場所】中央公民館 別館2階第1研修室<br/>【参加者】11 名<br/>【講師】ウィメンズカウンセリング京都 小松 明子 氏</p> <p>② 男女共同参画週間<br/>役場庁舎1階ロビーにおいて、男女共同参画及びジェンダーに関する特設コーナーを設置した。</p> |      |                         |
| 成 果       | <ul style="list-style-type: none"> <li>テレビなどでよく報道される身体的なDVだけでなく、あまり知られていない面前DVや、その子どもへの影響について、参加者の理解を深めることができた。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                             |      |                         |
| 課 題 認 識   | <ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画やジェンダー平等に関心がない人、また、幅広い年齢層への理解の促進方法を検討する必要がある。</li> <li>講座や特設コーナーに立ち寄らない人に対して、目に留まるような周知方法を検討する必要がある。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                           |      |                         |

事務事業番号<21>

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                |           |                         |         |           |      |                 |                         |                      |     |           |     |           |      |           |      |    |       |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-------------------------|---------|-----------|------|-----------------|-------------------------|----------------------|-----|-----------|-----|-----------|------|-----------|------|----|-------|
| 重 点 目 標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 【重点目標11】                                                                                                                                                                       |           |                         |         |           |      |                 |                         |                      |     |           |     |           |      |           |      |    |       |
| 事務事業名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 放課後児童クラブ運営事業                                                                                                                                                                   | 担当部署      | 生涯学習課<br>(生涯学習・スポーツ振興係) |         |           |      |                 |                         |                      |     |           |     |           |      |           |      |    |       |
| 事 業 実 績                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 学校・家庭・地域が連携し、社会全体で子どもを健全にはぐくむ環境づくりを目指し、公設放課後児童クラブの運営を行なうとともに、今年度新たに開設された民設放課後児童クラブに対し、運営費、整備費の補助を行なった。                                                                         |           |                         |         |           |      |                 |                         |                      |     |           |     |           |      |           |      |    |       |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | ＜公設放課後児童クラブの運営＞（3クラブ7支援単位）                                                                                                                                                     |           |                         |         |           |      |                 |                         |                      |     |           |     |           |      |           |      |    |       |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | なかよしクラブ1・2・3、ともだちクラブ、でっかいクラブ1・2・3                                                                                                                                              |           |                         |         |           |      |                 |                         |                      |     |           |     |           |      |           |      |    |       |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | ✓ 放課後児童クラブの利用者数が増加し、今後5年間程度は高い水準で推移することが見込まれる中で、本事業の社会的な役割は大きくなっている。                                                                                                           |           |                         |         |           |      |                 |                         |                      |     |           |     |           |      |           |      |    |       |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | ✓ 障がいのある児童についても、児童の状況を保護者と協議しながら、指導員の加配体制を整えて受け入れた。                                                                                                                            |           |                         |         |           |      |                 |                         |                      |     |           |     |           |      |           |      |    |       |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 【入会対象児童】 町内在住の小学1年生～4年生                                                                                                                                                        |           |                         |         |           |      |                 |                         |                      |     |           |     |           |      |           |      |    |       |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | ※ 支援が必要な児童で、在籍実績がある児童は5、6年生でも入会可                                                                                                                                               |           |                         |         |           |      |                 |                         |                      |     |           |     |           |      |           |      |    |       |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 【開所時間】                                                                                                                                                                         |           |                         |         |           |      |                 |                         |                      |     |           |     |           |      |           |      |    |       |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <table><tr><td>平日（月～金）</td><td>放課後から午後6時</td></tr><tr><td>土曜日</td><td>午前8時 30 分から午後6時</td></tr><tr><td>長期休業日（夏季を含む）<br/>及び振替休校日</td><td>午前8時 30 分から午後5時 30 分</td></tr></table> |           |                         | 平日（月～金） | 放課後から午後6時 | 土曜日  | 午前8時 30 分から午後6時 | 長期休業日（夏季を含む）<br>及び振替休校日 | 午前8時 30 分から午後5時 30 分 |     |           |     |           |      |           |      |    |       |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 平日（月～金）                                                                                                                                                                        | 放課後から午後6時 |                         |         |           |      |                 |                         |                      |     |           |     |           |      |           |      |    |       |
| 土曜日                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 午前8時 30 分から午後6時                                                                                                                                                                |           |                         |         |           |      |                 |                         |                      |     |           |     |           |      |           |      |    |       |
| 長期休業日（夏季を含む）<br>及び振替休校日                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 午前8時 30 分から午後5時 30 分                                                                                                                                                           |           |                         |         |           |      |                 |                         |                      |     |           |     |           |      |           |      |    |       |
| 【在籍児童数】（令和7年3月末現在）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                |           |                         |         |           |      |                 |                         |                      |     |           |     |           |      |           |      |    |       |
| <table><tr><td>なかよしクラブ 1</td><td>35 人</td></tr><tr><td>なかよしクラブ 2</td><td>34 人</td></tr><tr><td>なかよしクラブ 3</td><td>37 人</td></tr><tr><td>ともだちクラブ</td><td>38人</td></tr><tr><td>でっかいクラブ 1</td><td>38人</td></tr><tr><td>でっかいクラブ 2</td><td>39 人</td></tr><tr><td>でっかいクラブ 3</td><td>36 人</td></tr><tr><td>合計</td><td>257 人</td></tr></table> |                                                                                                                                                                                |           | なかよしクラブ 1               | 35 人    | なかよしクラブ 2 | 34 人 | なかよしクラブ 3       | 37 人                    | ともだちクラブ              | 38人 | でっかいクラブ 1 | 38人 | でっかいクラブ 2 | 39 人 | でっかいクラブ 3 | 36 人 | 合計 | 257 人 |
| なかよしクラブ 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 35 人                                                                                                                                                                           |           |                         |         |           |      |                 |                         |                      |     |           |     |           |      |           |      |    |       |
| なかよしクラブ 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 34 人                                                                                                                                                                           |           |                         |         |           |      |                 |                         |                      |     |           |     |           |      |           |      |    |       |
| なかよしクラブ 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 37 人                                                                                                                                                                           |           |                         |         |           |      |                 |                         |                      |     |           |     |           |      |           |      |    |       |
| ともだちクラブ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 38人                                                                                                                                                                            |           |                         |         |           |      |                 |                         |                      |     |           |     |           |      |           |      |    |       |
| でっかいクラブ 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 38人                                                                                                                                                                            |           |                         |         |           |      |                 |                         |                      |     |           |     |           |      |           |      |    |       |
| でっかいクラブ 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 39 人                                                                                                                                                                           |           |                         |         |           |      |                 |                         |                      |     |           |     |           |      |           |      |    |       |
| でっかいクラブ 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 36 人                                                                                                                                                                           |           |                         |         |           |      |                 |                         |                      |     |           |     |           |      |           |      |    |       |
| 合計                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 257 人                                                                                                                                                                          |           |                         |         |           |      |                 |                         |                      |     |           |     |           |      |           |      |    |       |
| （前年度3月末は 253 人）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                |           |                         |         |           |      |                 |                         |                      |     |           |     |           |      |           |      |    |       |
| ＜民設放課後児童クラブの運営支援＞（2クラブ2支援単位）                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                |           |                         |         |           |      |                 |                         |                      |     |           |     |           |      |           |      |    |       |
| ① Yabucogi（やぶこぎ）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                |           |                         |         |           |      |                 |                         |                      |     |           |     |           |      |           |      |    |       |
| 【開設日】令和 6 年 4 月 1 日                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                |           |                         |         |           |      |                 |                         |                      |     |           |     |           |      |           |      |    |       |
| 【定員】 20 人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                |           |                         |         |           |      |                 |                         |                      |     |           |     |           |      |           |      |    |       |
| 【在籍児童数】 16 人（令和 7 年 3 月時点）                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                |           |                         |         |           |      |                 |                         |                      |     |           |     |           |      |           |      |    |       |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | <p>② さくらっこ未来クラブ</p> <p>【開設日】令和 6 年 7 月 1 日 ※12 月に新施設完成に伴い移転</p> <p>【定員】 40 人</p> <p>【在籍児童数】 28 人(令和 7 年 3 月時点)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 成 果     | <ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度入会児童数は過去最多まで増加したが、民設クラブの開設もあり、待機児童を発生させることなく、入会を希望するすべての児童を受け入れることができた。</li> <li>令和 5 年度から開設の相談があった民間事業者 2 者について、事業開始にかかる様々な制度説明などを通じ、円滑な開所に結び付けた。また、開所後も各種制度の周知や安全対策の共有など、積極的な連携を図ることができた。</li> <li>公設クラブでは、安心、安全を最優先に、異年齢集団の中でさまざまな学びや遊び、日々の生活の取り組みを通して、子どもたちの健全な育成を目指した保育を実施した。</li> </ul>                                                              |
| 課 題 認 識 | <ul style="list-style-type: none"> <li>放課後児童クラブ入会児童が増加し、公設各クラブが大規模化する中で、大人数による集団生活に馴染むことができず途中退会する児童も出ており、児童が安心して過ごすことができ、保護者が安心して預けることができる環境を整えるため、条例基準に則り施設整備を進めるとともに運営方法や保育内容を柔軟に見直し改善する必要がある。</li> <li>公設クラブの放課後児童支援員に欠員が生じており、募集を継続しているものの適当な人材の応募が少ない状況が続いていることから、処遇改善に加えて時間外勤務の削減など就労条件・環境を見直し改善する必要がある。</li> <li>民設クラブ事業者とも引き続き積極的な連携を図り、待機児童を出さないことはもとより、よりよい放課後の過ごし方を模索していく必要がある。</li> </ul> |

事務事業番号<22>

|           |                                                                                                   |         |                  |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|------------------|
| 重 点 目 標   | 【重点目標13】                                                                                          |         |                  |
| 事 務 事 業 名 | 公民館管理運営事業                                                                                         | 担当部署    | 生涯学習課<br>(中央公民館) |
| 事 業 実 績   | 多様な学習機会を増やすとともに、地域のネットワークの拠点である社会教育施設の充実と活用の促進を目指し、公民館施設の管理運営、施設の維持管理を実施した。                       |         |                  |
|           | 【利用状況】                                                                                            |         |                  |
|           | 中央公民館開館日数                                                                                         | 305日    |                  |
|           | 中央公民館利用件数                                                                                         | 2,705件  |                  |
|           | 中央公民館施設利用率                                                                                        | 31.6%   |                  |
|           | 中央公民館利用者数                                                                                         | 30,796人 |                  |
|           | 1日当たり平均利用者数                                                                                       | 101人    |                  |
|           | 【開館時間】                                                                                            |         |                  |
|           | ✓ 平日(火～土) 9時～21時30分まで(別館は21時まで)                                                                   |         |                  |
|           | ✓ 日曜・祝日 9時～17時まで(別館は16時30分まで)                                                                     |         |                  |
| 成 果       | 【休館日】                                                                                             |         |                  |
|           | ✓ 毎週月曜、年末年始(12月28日から翌年の1月4日まで)                                                                    |         |                  |
|           | 【使用ルールなど】                                                                                         |         |                  |
|           | ✓ 一般使用団体は、2カ月前の1日から当日までに使用申請受付(サークル登録団体の使用申請は、3カ月前の20日から受付)                                       |         |                  |
|           | ✓ 使用申請後のキャンセルは、使用予定日から7日前までは8割返金、それ以降は返金しない。                                                      |         |                  |
| 課 題 認 識   | ✓ 使用申請後の変更は、使用予定日の3カ月後の末日まで変更可能。ただし1回のみ。                                                          |         |                  |
|           | ・ 町民の身近な社会教育施設としての役割を果たしている。                                                                      |         |                  |
|           | ・ 新規や若者層の利用者が徐々に増えてきた。                                                                            |         |                  |
|           | ・ 新規や若年層の利用者が徐々に増えてきているので、今後の複合化施設(中央公民館、保健センター、老人福祉センター)建設の期間中も、いかに公民館主催行事やサークル活動を継続していくかが課題である。 |         |                  |

事務事業番号<23>

| 重点目標【重点目標13】 |                                                |               |                                |                  |                                               |
|--------------|------------------------------------------------|---------------|--------------------------------|------------------|-----------------------------------------------|
| 事務事業名        |                                                | 公民館講座事業       | 担当部署                           | 生涯学習課<br>(中央公民館) |                                               |
| 事業実績         | 多様な学習機会を増やし、学習・文化活動場面での町民の協働を目指し、公民館講座事業を実施した。 |               |                                |                  |                                               |
|              | ① 公民館講座                                        |               |                                |                  |                                               |
|              |                                                | 実施日           | 内 容                            | 参加者数             | 講師等                                           |
|              | 1                                              | 6月21日         | シニアのための初めてのスマホ体験講座             | 12人              | KDDI(株) 斎藤 卓也 氏                               |
|              | 2                                              | 9月17日～9月26日   | はじめてのスマートフォン体験型講習会(計5回)        | 52人              | 株式会社 HONKI                                    |
|              | 3                                              | 9月28日         | 子育て応援講座「ライフプラン子どもの教育資金・住宅資金計画」 | 14人              | ソニー生命保険(株) ライフプランナー山口正二郎氏                     |
|              | 4                                              | 10月24日～1月24日  | はじめてのスマートフォン体験型講習会(計4回)        | 19人              | 株式会社J:COM                                     |
|              | 5                                              | 11月16日        | 干支絵付け教室                        | 28人              | 田村 博文 氏                                       |
|              | 6                                              | 11月22日～11月24日 | 手作りワークショップ                     | 29人              | 井口 博 氏<br>中元 司 氏                              |
|              | 7                                              | 11月23日        | 型染め教室                          | 6人               | 井口 博 氏                                        |
|              | 8                                              | 11月24日        | 錫(すず)の細工教室                     | 12人              | 中元 司 氏                                        |
|              | 9                                              | 11月29日        | お気に入りの音楽を聞く集い                  | 2人               |                                               |
|              | 10                                             | 11月30日        | おとなの和菓子づくり体験講座                 | 16人              | 乙訓食品衛生協会 喜久春2代目西山基文氏                          |
|              | 11                                             | 12月5日         | 体験型音楽療法講座                      | 27人              | 坂下正幸氏・山本文子氏                                   |
|              | 12                                             | 1月18日         | シニアのためのヨガ講座                    | 13人              | 向井氏(介護予防指導士)                                  |
|              | 13                                             | 1月25日         | ライフプラン講座「夢のある人生を心豊かに送るために」     | 22人              | ソニー生命保険(株) ライフプランナー山口正二郎氏                     |
|              | 14                                             | 2月22日         | エンディングノートで始める終活                | 12人              | 和田 誠三 氏(行政書士)<br>西 博三 氏(行政書士)<br>長村 俊治氏(行政書士) |
|              | 15                                             | 3月22日         | 健康教養講座                         | 33人              | 草野 超夫 氏(医師)                                   |

|         |                                                                                                                                                                        |                    |            |      |                                               |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|------------|------|-----------------------------------------------|
|         | ② 図書室事業                                                                                                                                                                |                    |            |      |                                               |
|         | 1                                                                                                                                                                      | 4月 11日<br>他 11 回   | 絵本の読み聞かせ   | 81人  | 竹の子文庫・どんぐり文庫<br>の協力により毎月 1 回<br>第2水曜に実施(8月除く) |
|         | 2                                                                                                                                                                      | 4月 20日             | 人形劇とブックフェア | 70 人 | パペットルームこまくさ<br>岡村 富美代氏                        |
|         | ③ その他事業                                                                                                                                                                |                    |            |      |                                               |
|         | 1                                                                                                                                                                      | 7月 23日<br>～8 月 25日 | 夏の自習室      | 70人  | 高校生以上を対象に<br>談話室を自習室として開放                     |
| 成 果     | <ul style="list-style-type: none"> <li>多くの町民の学習意欲・仲間づくりに応えるために必要な施策であり、今年主催講座の一部を子育て世代を対象にすることで幅広い年齢層の参加があった。</li> <li>要望が多かった夏の自習室を昨年に続き夏休み限定で期間を拡大して実施した。</li> </ul> |                    |            |      |                                               |
| 課 題 認 識 | <ul style="list-style-type: none"> <li>多様な学習機会の提供に向けた取組が必要であり、社会教育の重要性をアピールし、すべての町民の生涯学習の機会となるために、複合化施設(中央公民館・保健センター・老人福祉センター)建設中も講座等の継続を図っていく必要がある。</li> </ul>        |                    |            |      |                                               |

事務事業番号＜24＞

|           |                                                                                              |                       |                              |                            |                                |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|------------------------------|----------------------------|--------------------------------|
| 重 点 目 標   | 【重点目標11】                                                                                     |                       |                              |                            |                                |
| 事 務 事 業 名 | 子ども体験教室事業                                                                                    | 担当部署                  | 生涯学習課<br>(中央公民館)             |                            |                                |
| 事 業 実 績   | 多様な学習機会を増やすとともに、地域のネットワークの拠点である社会教育施設において、子ども時代から学習・文化活動場面での町民の協働を推進することを目指し、子ども体験教室事業を実施した。 |                       |                              |                            |                                |
|           | ① 子ども体験事業                                                                                    |                       |                              |                            |                                |
|           |                                                                                              | 実施日                   | 内 容                          | 参加者数                       | 講師                             |
|           | 1                                                                                            | 7月31日<br>8月7日         | ジャグリング体験教室                   | 13人                        | シンクロニシティ<br>(プロジャグラー)          |
|           | 2                                                                                            | 8月1日                  | 子ども陶芸教室                      | 28人                        | 山崎 正裕 氏                        |
|           | 3                                                                                            | 8月3日                  | 親子で作ろう「FMラジオ」                | 20人                        | 上野山 和仁 氏                       |
|           | 4                                                                                            | 8月13日<br>～8月17日       | 子どもの自習室                      | 6人                         | 小中学生を対象に<br>実習室を自習室として開放       |
|           | 5                                                                                            | 8月20日                 | 電池手作り教室                      | 8人                         | マクセル(株)京都事業所                   |
|           | 6                                                                                            | 8月23日                 | トールペインティング教室                 | 29人                        | 坂本 依真理 氏                       |
|           | 7                                                                                            | 8月23日                 | タイル張りコースター<br>づくり教室          | 33人                        | 中島 好浩 氏他<br>京都府タイル技工組合         |
|           | 8                                                                                            | 9月8日                  | めざせ！子ども防災士<br>(1回目)          | 10人                        | 日本防災士会京都支部                     |
|           | 9                                                                                            | 12月1日                 | めざせ！子ども防災士<br>(2回目)          | 11人                        | 日本防災士会京都支部                     |
|           | 10                                                                                           | 12月21日                | 和菓子作り体験教室                    | 55人                        | 將野 義雄 氏<br>(京都府菓子技能士会会長)       |
|           | 11                                                                                           | 2月2日                  | めざせ！子ども防災士<br>(3回目)子ども防災キャンプ | 13人                        | 日本防災士会京都支部                     |
|           | 12                                                                                           | 2月23日                 | クルマづくり<br>体験教室               | 10人                        | ダイハツ工業(株)<br>ダイハツものづくり体験教室グループ |
| 13        | 3月20日                                                                                        | 親子で作る<br>「楽しいクッキング教室」 | 22人                          | 森 かおる 氏<br>(料理家・Relish 主宰) |                                |
| 成 果       | ・ 子ども防災キャンプ事業を拡大し、「めざせ！子ども防災士」講座を3回開催し、12名の子ども防災士が誕生した。(うち1名は防災士資格取得試験にも合格した。)               |                       |                              |                            |                                |

|         |                                                                                                                                                                      |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 課 題 認 識 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後とも新しい教室を開拓し、地域で子どもを健全にはぐくむ環境づくりを推進する必要がある。</li> <li>・ 複合化施設(中央公民館・保健センター・老人福祉センター)建設中も子ども体験教室事業の継続を図っていく必要がある。</li> </ul> |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

事務事業番号＜25＞

|           |                                                                                                                                                                                                                                            |      |                  |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------------------|
| 重 点 目 標   | 【重点目標13】                                                                                                                                                                                                                                   |      |                  |
| 事 務 事 業 名 | 公サ連まつり事業                                                                                                                                                                                                                                   | 担当部署 | 生涯学習課<br>(中央公民館) |
| 事 業 実 績   | <p>地域のネットワークの拠点である社会教育施設の充実と活用の促進を図り、学習・文化活動場面での町民の協働を推進することを目指し、公サ連まつりを開催した。</p> <p>＜第22回 公サ連まつりの開催＞（公サ連と中央公民館の共催）<br/> 【日時】6月8日（土）・9日（日）<br/> 【場所】中央公民館本館・別館・老人福祉センター長寿苑<br/> ※ 公民館ホール閉鎖中のため、一部サークルの発表に際して、老人福祉センター長寿苑の大広間を借用して実施した。</p> |      |                  |
| 成 果       | <ul style="list-style-type: none"> <li>公民館サークル活動の成果発表の場であり、町民が集う催しとして定着している。</li> </ul>                                                                                                                                                    |      |                  |
| 課 題 認 識   | <ul style="list-style-type: none"> <li>今後の複合施設（中央公民館、保健センター、老人福祉センター）建設工事期間中における「公サ連まつり」の開催について、主に老人福祉センターを中心に実施する方策を検討する必要がある。</li> <li>さらに、複合施設完成後においても、引き続き維持継続していくために、各団体との連携が課題である。</li> </ul>                                        |      |                  |

事務事業番号＜26＞

|                                          |                                                                       |         |                  |
|------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|---------|------------------|
| 重点目標                                     | 【重点目標13】                                                              |         |                  |
| 事務事業名                                    | 図書室運営事業                                                               | 担当部署    | 生涯学習課<br>(中央公民館) |
| 事業実績                                     | 多様な学習機会を増やすとともに、地域のネットワークの拠点である社会教育施設の充実と活用の促進を目指し、中央公民館図書室運営事業を実施した。 |         |                  |
|                                          | ＜中央公民館図書室運営事業＞                                                        |         |                  |
|                                          | ✓ 図書の貸出、返却、発注、受入、整理、保管義務                                              |         |                  |
|                                          | ✓ 図書の貸出に伴う予約、リクエスト、調査・相談業務                                            |         |                  |
|                                          | ✓ 貸出対象者＝町内に在住または在勤の者                                                  |         |                  |
|                                          | ✓ 冊数＝1人8冊まで                                                           |         |                  |
|                                          | ✓ 貸出期間＝2週間まで                                                          |         |                  |
|                                          | 【開室日時】                                                                |         |                  |
|                                          | 火曜～金曜＝9時 30 分～17 時 00 分(貸出は 16 時 45 分)                                |         |                  |
|                                          | 土曜、日曜、祝日＝9時 30 分～16 時 30 分(貸出は 16 時 15 分)                             |         |                  |
| 【休室日】                                    |                                                                       |         |                  |
| ✓ 月曜日(月曜日が休日に当たる場合も同じ)                   |                                                                       |         |                  |
| ✓ 月の最終木曜日(ただし、最終木曜日が休日のときはその前日)          |                                                                       |         |                  |
| ✓ 年末年始(12 月 27 日～1月4日)                   |                                                                       |         |                  |
| ✓ 特別整理期間                                 |                                                                       |         |                  |
| ＜図書室運営状況＞                                |                                                                       |         |                  |
|                                          |                                                                       | 開室日数    | 286日             |
| 蔵書数                                      | 一般書                                                                   | 25,520冊 |                  |
|                                          | 児童書                                                                   | 15,935冊 |                  |
|                                          | その他                                                                   | 1,785冊  |                  |
|                                          | 合計                                                                    | 43,240冊 |                  |
| 貸出者数(延数)                                 |                                                                       | 20,901人 |                  |
| 貸出冊数(延数)                                 |                                                                       | 74,225冊 |                  |
| 【その他】                                    |                                                                       |         |                  |
| ・ 京都府図書館総合目録ネットワークシステム「ケイ・リブネット」と提携している。 |                                                                       |         |                  |
| ・ 読みたい本が見つからないときは、                       |                                                                       |         |                  |
| 「予約・リクエスト」可能                             |                                                                       |         |                  |
| 「他の図書館からの借用」可能                           |                                                                       |         |                  |
| 「パソコンを利用して検索」可能                          |                                                                       |         |                  |

|         |                                                                                                                                                                                    |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 成 果     | <ul style="list-style-type: none"> <li>貸出者数・貸出冊数も前年度と比較すると多少減少したが、貸出者数も2万人台、貸出冊数も7万4千冊台には前年に続き到達している。</li> <li>絵本の読み聞かせ等の図書室主催行事についても情報発信に努め、参加者が増えた。</li> </ul>                   |
| 課 題 認 識 | <ul style="list-style-type: none"> <li>複合施設（中央公民館、保健センター、老人福祉センター）建設工事期間中の、仮図書室（老人福祉センター内を予定）で、機能の維持継続を図る必要がある。</li> <li>新施設においては、図書館法に規定する「図書館」を目指す場合についての、課題整理が必要である。</li> </ul> |

事務事業番号＜27＞

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |      |                         |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------------|
| 重 点 目 標 | 【重点目標13】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |      |                         |
| 事務事業名   | 「教育・文化週間」関連行事                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 担当部署 | 生涯学習課<br>(生涯学習・スポーツ振興係) |
| 事業実績    | <p>多様な学習機会を増やすとともに、学習・文化活動場面での町民の協働を推進するため、また、町内団体の発表の場とするため、国が定める「教育・文化週間」に合わせて行事を開催した。</p> <p>※今年度は「事務事業番号 16 ときめきチャレンジ推進事業」の一環として実施した。</p> <p>＜ときめきラテンコンサート＞</p> <p>【日時】11月9日(土) 午前10時～11時</p> <p>【場所】大山崎小学校 体育館</p> <p>【演奏者】オルケスタ山崎</p> <p>【参加者数】73名</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 大山崎を拠点として活動している、音楽団体(ラテンジャズビッグバンド)による演奏</li> <li>✓ 曲間には奏者による楽器やラテン音楽に関するレクチャー</li> </ul> |      |                         |
| 成 果     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 従前に行われていたイベント「文化のつどい」では、団体の紹介に留まり、文化芸術の振興的側面が弱くなっていたが、コンサートという形で新たなイベントを再構築できた。</li> <li>・ 町内で活動する音楽団体の活動場所、発表の機会となった。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                 |      |                         |
| 課題認識    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ときめきチャレンジ推進事業の枠で企画・実施したため、広報のメインは小学校であり、大人がやや少なかったため、宣伝方法について工夫する必要がある。</li> <li>・ 講演(演奏)いただく団体について、毎年選定する必要がある、町内団体との連携が必要である。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                        |      |                         |

事務事業番号＜28＞

|         |                                                                                    |        |        |        |                         |        |       |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------|--------|--------|--------|-------------------------|--------|-------|
| 重 点 目 標 | 【重点目標14】                                                                           |        |        |        |                         |        |       |
| 事務事業名   | 体育館管理運営事業                                                                          |        |        | 担当部署   | 生涯学習課<br>(生涯学習・スポーツ振興係) |        |       |
| 事業実績    | 誰もが心身共に健康な生涯を実現できるよう、各スポーツ施設を整備・充実し、日常的に体力・競技力の向上が図られる環境づくりを目指し、大山崎町体育館の管理運営を実施した。 |        |        |        |                         |        |       |
|         | ① 体育室等の管理・貸出業務<br>② 備品等の管理・貸出業務<br>③ 施設管理及び修繕業務                                    |        |        |        |                         |        |       |
|         | <利用状況>                                                                             |        |        |        |                         |        |       |
|         | 月別                                                                                 | 4 月    | 5 月    | 6 月    | 7 月                     | 8 月    | 9 月   |
|         | 人数                                                                                 | 4, 824 | 5, 690 | 4, 862 | 5,576                   | 4, 091 | 5,816 |
|         | 件数                                                                                 | 117    | 123    | 134    | 134                     | 141    | 115   |
|         | 前年度                                                                                | 3,444  | 7,090  | 3,864  | 5,637                   | 3,442  | 5,979 |
|         |                                                                                    | 115    | 126    | 139    | 141                     | 141    | 122   |
|         | 月別                                                                                 | 10 月   | 11 月   | 12 月   | 1 月                     | 2 月    | 3 月   |
|         | 人数                                                                                 | 5, 549 | 5, 293 | 3,749  | 3, 537                  | 6, 045 | 6,410 |
|         | 件数                                                                                 | 127    | 125    | 111    | 123                     | 107    | 130   |
|         | 前年度                                                                                | 4,354  | 4,269  | 3,823  | 6,806                   | 5,587  | 6,381 |
| 116     |                                                                                    | 106    | 110    | 100    | 137                     | 135    |       |
|         |                                                                                    | 合計人数   | 合計件数   | 利用率    |                         |        |       |
| 本年度     | 61,492                                                                             | 1,487  | 74. 3% |        |                         |        |       |
| 前年度     | 60,684                                                                             | 1,483  | 71. 6% |        |                         |        |       |

|                                                                     |                                                                                                                                                                  |          |        |        |        |       |          |
|---------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|--------|--------|--------|-------|----------|
|                                                                     | ＜種目別利用状況＞（人数と件数）                                                                                                                                                 |          |        |        |        |       |          |
|                                                                     | 種目                                                                                                                                                               | バスケットボール | フェンシング | バレーボール | バドミントン | 体 操   | 卓 球      |
|                                                                     | 人数                                                                                                                                                               | 15,454   | 12,307 | 10,060 | 5,314  | 3,161 | 3,082    |
|                                                                     | 種目                                                                                                                                                               | バドミントン   | 卓 球    | バレーボール | フェンシング | 体 操   | バスケットボール |
|                                                                     | 件数                                                                                                                                                               | 373      | 207    | 185    | 157    | 140   | 122      |
|                                                                     |                                                                                                                                                                  |          |        |        |        |       |          |
|                                                                     | 種目                                                                                                                                                               | マーチング    | 武 道    | ドッジボール | エアロビクス | その他   | 合計       |
|                                                                     | 人数                                                                                                                                                               | 2,469    | 2,153  | 2,036  | 690    | 4,608 | 61,492   |
|                                                                     | 種目                                                                                                                                                               | 武 道      | エアロビクス | マーチング  | ドッジボール | その他   | 合計       |
|                                                                     | 件数                                                                                                                                                               | 86       | 36     | 32     | 9      | 140   | 1,487    |
| ＜その他＞                                                               |                                                                                                                                                                  |          |        |        |        |       |          |
| ✓ 京都国体(昭和 63 年)でフェンシング会場となり、それ以降、各種のフェンシング大会、競技会の会場として全国的に名が知られている。 |                                                                                                                                                                  |          |        |        |        |       |          |
| ✓ 「その他」の項目には、二十歳を祝う会等の町行事、スポーツ少年団交流大会、サタデーナイト、たけのこ教室などが含まれる。        |                                                                                                                                                                  |          |        |        |        |       |          |
| ✓ 新型コロナウイルス感染拡大も収まり、令和5年度に利用者数が過去最高を記録したが、令和6年度は更に利用者数が増加した。        |                                                                                                                                                                  |          |        |        |        |       |          |
| ✓ 令和5年度に引き続き、バスケットボール競技での利用者が最も多かったが、フェンシング競技の利用者数も1.5倍に増加した。       |                                                                                                                                                                  |          |        |        |        |       |          |
| 成 果                                                                 | ・ 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、令和5年度に引き続き利用者数が過去最高を記録した。<br>・ 1年を通じ、年間調整の段階で土・日曜日はほぼ利用申込があった。                                                                            |          |        |        |        |       |          |
| 課 題 認 識                                                             | ・ 平日の午後3時～同6時の時間帯には空きが多いため、当該時間帯の利用確保のための方策が必要である。(大山崎中学校の部活動は無料にて利用可能としている。)<br>・ 交通利便性が高い町体育館は、町外利用者が非常に多く、各種大会の会場となっているため、町内利用者のニーズを満たしていくことについても整理・検討が必要である。 |          |        |        |        |       |          |

事務事業番号＜29＞

|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                   |                         |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|-------------------------|
| 重 点 目 標  | 【重点目標14】                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                   |                         |
| 事務事業名    | 大山崎町天王山カップ<br>少年少女フェンシング大会                                                                                                                                                                                                                                                                              | 担当部署                              | 生涯学習課<br>(生涯学習・スポーツ振興係) |
| 事業実績     | 誰もが心身共に健康な生涯を実現できるよう、主体的にスポーツに親しむ生涯スポーツを振興することを目指し、少年少女フェンシング大会(天王山カップ)を開催した。                                                                                                                                                                                                                           |                                   |                         |
|          | ＜第7回大山崎町天王山カップ少年少女フェンシング大会＞                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                   |                         |
|          | 日時                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 12月7日 10時00分～                     | 中学生の部                   |
|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 12月7日 15時10分～                     | 小学1・2年生の部               |
|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 12月8日 10時00分～                     | 小学5・6年生の部               |
|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 12月8日 14時00分～                     | 小学3・4年生の部               |
|          | 会場                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 大山崎町体育館                           |                         |
|          | 概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | カテゴリごとに完全入れ替え制で実施<br>競技種目＝フルーレ個人戦 |                         |
|          | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 小学生 1・2年                          | 37人(男女混合)               |
|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 小学生 3・4年                          | 男子の部＝53人    女子の部＝31人    |
| 小学生 5・6年 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 男子の部＝70人    女子の部＝32人              |                         |
| 中学生      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 男子の部＝62人    女子の部＝61人              |                         |
| 参加者合計    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 346人                              |                         |
| 表彰       | カテゴリ毎に 1 位～3 位を表彰                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                   |                         |
| 成果       | <ul style="list-style-type: none"><li>持続可能な大会とするためには、適正な規模であることが課題としてあがっており、今大会は、参加人数を制限(先着順で受付)したことで、スムーズに進行ができ、“適正な規模”で開催することができた。</li><li>ダイハツ工業(株)の駐車場をお借りしたことで、これまで課題であった駐車場の混雑は避けることができ、例年多かった、駐車場利用を含む大会運営への苦情はなかった。</li><li>今大会は、準決勝進出選手の紹介の際、スポットライト及び音楽を流す演出を実施したところ、参加者から好評の声があった。</li></ul> |                                   |                         |
| 課題認識     | <ul style="list-style-type: none"><li>審判員の人数が少なかったために、その審判員にかかる負担が重くなってしまった。</li><li>フェンシングに関わる町民が少なく、町民をより集客するためにキッチンカーを出店したが結果が伴わなかった。</li></ul>                                                                                                                                                      |                                   |                         |

事務事業番号<30>

| 重点目標  | 【重点目標14】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |      |                         |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------------|
| 事務事業名 | スポーツ振興事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 担当部署 | 生涯学習課<br>(生涯学習・スポーツ振興係) |
| 事業実績  | <p>誰もが心身共に健康な生涯を実現でき、年齢や体力、目的に応じて、主体的にスポーツに親しむ生涯スポーツを振興することを目指し、主に大山崎町スポーツ協会の協力のもと、スポーツ振興事業を実施した。</p> <p>① 大山崎町体育協会から大山崎町スポーツ協会へと組織変更<br/>令和6年度大山崎町体育協会総会において、大山崎町スポーツ協会へと組織変更された。</p> <p>② 町民体育祭(スポーツ協会共催)<br/>【日 時】令和6年 10 月6日(日)<br/>【場 所】大山崎中学校<br/>【参加者】約 450名<br/>【内容】綱引き、玉入れ、ラムネ飲み競走、親子競技、リレー 等<br/>※ 令和5年度以降、「地区対抗戦」から「チーム対抗戦」に変更して開催</p> <p>③ 町スポーツ協会主催事業「やますぼのつどい」<br/>【日 時】令和6年12月22日(日)<br/>【会 場】大山崎町体育館<br/>【参加者】約150名<br/>【内 容】卓球、バレーボール、バスケットボール、バドミントン、グラウンドゴルフ、ストラックアウトをスポーツ協会加盟の6団体の協力のもと、様々なスポーツ体験教室を実施。</p> <p>④ 京都府民総合体育大会への参加<br/>8 競技 軟式野球、サッカー、バレーボール女子、バスケットボール男子・女子、ボウリング、グラウンドゴルフ<br/>駅伝競走(当日大雪で中止)</p> <p>⑤ 町スポーツ少年団の育成<br/>8単位団 登録者=231名(団員 164名 指導者 67名)</p> |      |                         |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 成 果     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 京都府内唯一であった「体育協会」を「スポーツ協会」に組織変更されたことでスポーツ振興に向けた新たなスタートが切られた。</li> <li>・ 町内自治会会員数の減少、高齢化、役員のなり手不足等により、町民体育祭では自治会ごとの参加限定から令和5年度に引き続き任意の「チーム対抗戦」も取り入れたことで、自治会の負担を軽減することができ、参加チーム数も13チームとほぼ例年通りとなった。また、参加者アンケートの結果も高評価であった。</li> <li>・ 町スポーツ協会主催の「やますぼのつどい」を開催することにより、前年度の「スポーツフェスティバル」を継承することができた。また、協会加盟団体の協力を得て、様々なスポーツ体験教室を開催することができた。同時に開催種目サークルへの参加も奨励することができた。</li> </ul> |
| 課 題 認 識 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新たに発足した大山崎町スポーツ協会の事業充実を図る必要がある。</li> <li>・ 町民体育祭をはじめとしたイベント等の開催時においては、誰もが気軽に参加できる(楽しめる)種目を検討することなどにより一層のスポーツ振興を図る必要がある。</li> <li>・ チーム対抗となった町民体育祭において、引き続き自治会や地域単位の参加が出来るよう、町内会・自治会長会議における参加呼びかけなどを継続する必要がある。</li> </ul>                                                                                                                                                    |

事務事業番号＜31＞

|           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |      |                         |    |      |     |      |    |     |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------------|----|------|-----|------|----|-----|
| 重 点 目 標   | 【重点目標14】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |      |                         |    |      |     |      |    |     |
| 事 務 事 業 名 | スポーツ体験教室事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 担当部署 | 生涯学習課<br>(生涯学習・スポーツ振興係) |    |      |     |      |    |     |
| 事 業 実 績   | <p>誰もが心身共に健康な生涯を実現でき、年齢や体力、目的に応じて、主体的にスポーツに親しむ生涯スポーツを振興することを目指し、子どもたちがスポーツを始めるきっかけづくりとして、スポーツ体験教室を開催した。</p> <p>※「ときめきチャレンジ推進事業」の一環として開催した。</p> <p>＜スポーツ体験教室事業＞</p> <p>本事業への参加からスポーツ少年団等への加入につなげることを目的に、指導を町内のスポーツ施設で活動しているスポーツ少年団に依頼して実施した。</p> <p>【実施種目・参加者数】 延べ 30 人</p> <table><tr><td>種目</td><td>参加人数</td></tr><tr><td>新体操</td><td>23 人</td></tr><tr><td>剣道</td><td>7 人</td></tr></table> |      |                         | 種目 | 参加人数 | 新体操 | 23 人 | 剣道 | 7 人 |
| 種目        | 参加人数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |      |                         |    |      |     |      |    |     |
| 新体操       | 23 人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |      |                         |    |      |     |      |    |     |
| 剣道        | 7 人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |      |                         |    |      |     |      |    |     |
| 成 果       | <ul style="list-style-type: none"><li>子どもが新たなスポーツに触れる機会を創出でき、事業の趣旨に沿った結果を得られていると考えられる。また、地域のスポーツ少年団の広報の機会にもなった。</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                                     |      |                         |    |      |     |      |    |     |
| 課 題 認 識   | <ul style="list-style-type: none"><li>町内のスポーツの振興については、町内スポーツ団体(少年団)の広報事業など、従来の方法にこだわらず、別の切り口でも検討する必要がある。</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                                            |      |                         |    |      |     |      |    |     |

事務事業番号＜32＞

| 重 点 目 標                   | 【重点目標14】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |        |                         |    |      |    |             |      |      |          |      |      |             |       |      |        |        |       |            |       |       |        |      |      |
|---------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-------------------------|----|------|----|-------------|------|------|----------|------|------|-------------|-------|------|--------|--------|-------|------------|-------|-------|--------|------|------|
| 事務事業名                     | スポーツ団体育成事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 担当部署   | 生涯学習課<br>(生涯学習・スポーツ振興係) |    |      |    |             |      |      |          |      |      |             |       |      |        |        |       |            |       |       |        |      |      |
| 事 業 実 績                   | 誰もが心身共に健康な生涯を実現でき、年齢や体力、目的に応じて、主体的にスポーツに親しむ生涯スポーツを振興することを目指し、町スポーツ協会加盟団体に対する指導・助言を実施した。                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |        |                         |    |      |    |             |      |      |          |      |      |             |       |      |        |        |       |            |       |       |        |      |      |
|                           | ＜スポーツ団体＞ 6団体                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |        |                         |    |      |    |             |      |      |          |      |      |             |       |      |        |        |       |            |       |       |        |      |      |
|                           | <table><tr><th>団体</th><th>チーム数</th><th>人数</th></tr><tr><td>バレーボール連絡協議会</td><td>4チーム</td><td>73 人</td></tr><tr><td>バドミントン協会</td><td>5チーム</td><td>89 人</td></tr><tr><td>グラウンド・ゴルフ協会</td><td>1 チーム</td><td>42 人</td></tr><tr><td>軟式野球連盟</td><td>11 チーム</td><td>133 人</td></tr><tr><td>バスケットボール協会</td><td>5 チーム</td><td>108 人</td></tr><tr><td>ゴルフクラブ</td><td>1チーム</td><td>16 人</td></tr></table> |        |                         | 団体 | チーム数 | 人数 | バレーボール連絡協議会 | 4チーム | 73 人 | バドミントン協会 | 5チーム | 89 人 | グラウンド・ゴルフ協会 | 1 チーム | 42 人 | 軟式野球連盟 | 11 チーム | 133 人 | バスケットボール協会 | 5 チーム | 108 人 | ゴルフクラブ | 1チーム | 16 人 |
|                           | 団体                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | チーム数   | 人数                      |    |      |    |             |      |      |          |      |      |             |       |      |        |        |       |            |       |       |        |      |      |
|                           | バレーボール連絡協議会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 4チーム   | 73 人                    |    |      |    |             |      |      |          |      |      |             |       |      |        |        |       |            |       |       |        |      |      |
|                           | バドミントン協会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 5チーム   | 89 人                    |    |      |    |             |      |      |          |      |      |             |       |      |        |        |       |            |       |       |        |      |      |
|                           | グラウンド・ゴルフ協会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 1 チーム  | 42 人                    |    |      |    |             |      |      |          |      |      |             |       |      |        |        |       |            |       |       |        |      |      |
|                           | 軟式野球連盟                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 11 チーム | 133 人                   |    |      |    |             |      |      |          |      |      |             |       |      |        |        |       |            |       |       |        |      |      |
| バスケットボール協会                | 5 チーム                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 108 人  |                         |    |      |    |             |      |      |          |      |      |             |       |      |        |        |       |            |       |       |        |      |      |
| ゴルフクラブ                    | 1チーム                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 16 人   |                         |    |      |    |             |      |      |          |      |      |             |       |      |        |        |       |            |       |       |        |      |      |
| ※ 令和6年度からゴルフクラブが加盟された。    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |        |                         |    |      |    |             |      |      |          |      |      |             |       |      |        |        |       |            |       |       |        |      |      |
| ＜スポーツ少年団＞ 7種目、8単位団、231人登録 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |        |                         |    |      |    |             |      |      |          |      |      |             |       |      |        |        |       |            |       |       |        |      |      |
| 成 果                       | ・ 府民総合体育大会への参加をはじめ、それぞれのスポーツ団体主催の事業も数多く開催されている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |        |                         |    |      |    |             |      |      |          |      |      |             |       |      |        |        |       |            |       |       |        |      |      |
|                           | ・ スポーツ少年団は京都府内でもトップクラスの加入率であり、小さい町ではあるが、子どものスポーツ活動は盛んである。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |        |                         |    |      |    |             |      |      |          |      |      |             |       |      |        |        |       |            |       |       |        |      |      |
| 課 題 認 識                   | ・ 各団体が練習や試合で町体育館、学校体育施設、桂川河川敷公園を利用している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |        |                         |    |      |    |             |      |      |          |      |      |             |       |      |        |        |       |            |       |       |        |      |      |
|                           | ・ 府民総合体育大会への参加をはじめ、それぞれのスポーツ団体主催の事業も数多く開催されている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |        |                         |    |      |    |             |      |      |          |      |      |             |       |      |        |        |       |            |       |       |        |      |      |

事務事業番号＜33＞

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |      |                         |     |     |     |     |     |     |     |       |     |     |     |     |       |     |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |     |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-------|-----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 重 点 目 標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 【重点目標14】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |      |                         |     |     |     |     |     |     |     |       |     |     |     |     |       |     |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |     |
| 事務事業名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | スポーツ推進委員関連事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 担当部署 | 生涯学習課<br>(生涯学習・スポーツ振興係) |     |     |     |     |     |     |     |       |     |     |     |     |       |     |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |     |
| 事業実績                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 誰もが心身共に健康な生涯を実現でき、年齢や体力、目的に応じて、主体的にスポーツに親しむ生涯スポーツを振興することを目指し、スポーツ基本法に基づくスポーツ推進委員を委嘱し、各種事業を実施した。                                                                                                                                                                                                                                                                             |      |                         |     |     |     |     |     |     |     |       |     |     |     |     |       |     |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | ＜スポーツ推進委員の役割＞                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |      |                         |     |     |     |     |     |     |     |       |     |     |     |     |       |     |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | ✓ スポーツ推進委員は、町スポーツ推進委員協議会を構成し、月1回定例会にて「サタデーナイト」事業等の内容を検討し、町民のスポーツ振興を進める。                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |      |                         |     |     |     |     |     |     |     |       |     |     |     |     |       |     |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | ✓ 近畿、府、乙訓のスポーツ推進委員研修会等への積極的な参加により個々の指導力の向上を図る。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |      |                         |     |     |     |     |     |     |     |       |     |     |     |     |       |     |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 【スポーツ推進委員「サタデーナイト」実施状況】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |      |                         |     |     |     |     |     |     |     |       |     |     |     |     |       |     |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | ＜参加人数＞                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |      |                         |     |     |     |     |     |     |     |       |     |     |     |     |       |     |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <table><tr><td>月別</td><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td></tr><tr><td>子ども</td><td>46</td><td>97</td><td>113</td><td>61</td><td>32</td><td>90</td></tr><tr><td>大人</td><td>23</td><td>40</td><td>54</td><td>31</td><td>21</td><td>50</td></tr><tr><td>計</td><td>69</td><td>137</td><td>167</td><td>92</td><td>53</td><td>140</td></tr></table> |      |                         | 月別  | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 子ども   | 46  | 97  | 113 | 61  | 32    | 90  | 大人 | 23 | 40 | 54 | 31 | 21 | 50 | 計   | 69  | 137 | 167 | 92  | 53  | 140 |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 月別                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 4月   | 5月                      | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  |     |     |     |       |     |     |     |     |       |     |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 子ども                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 46   | 97                      | 113 | 61  | 32  | 90  |     |     |     |       |     |     |     |     |       |     |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 大人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 23   | 40                      | 54  | 31  | 21  | 50  |     |     |     |       |     |     |     |     |       |     |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |     |
| 計                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 69                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 137  | 167                     | 92  | 53  | 140 |     |     |     |     |       |     |     |     |     |       |     |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |     |
| <table><tr><td>月別</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr><tr><td>子ども</td><td>95</td><td>99</td><td>42</td><td>23</td><td>95</td><td>82</td></tr><tr><td>大人</td><td>43</td><td>37</td><td>17</td><td>19</td><td>31</td><td>34</td></tr><tr><td>計</td><td>138</td><td>136</td><td>59</td><td>42</td><td>126</td><td>116</td></tr></table> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |      | 月別                      | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 子ども | 95    | 99  | 42  | 23  | 95  | 82    | 大人  | 43 | 37 | 17 | 19 | 31 | 34 | 計  | 138 | 136 | 59  | 42  | 126 | 116 |     |
| 月別                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 10月                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 11月  | 12月                     | 1月  | 2月  | 3月  |     |     |     |     |       |     |     |     |     |       |     |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |     |
| 子ども                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 95                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 99   | 42                      | 23  | 95  | 82  |     |     |     |     |       |     |     |     |     |       |     |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |     |
| 大人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 43                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 37   | 17                      | 19  | 31  | 34  |     |     |     |     |       |     |     |     |     |       |     |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |     |
| 計                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 138                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 136  | 59                      | 42  | 126 | 116 |     |     |     |     |       |     |     |     |     |       |     |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |     |
| <table><tr><td>年度</td><td>子ども</td><td>大人</td><td>合計</td><td>月平均</td></tr><tr><td>6年度</td><td>875</td><td>400</td><td>1,275</td><td>106</td></tr><tr><td>5年度</td><td>805</td><td>390</td><td>1,195</td><td>100</td></tr></table>                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |      | 年度                      | 子ども | 大人  | 合計  | 月平均 | 6年度 | 875 | 400 | 1,275 | 106 | 5年度 | 805 | 390 | 1,195 | 100 |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |     |
| 年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 子ども                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 大人   | 合計                      | 月平均 |     |     |     |     |     |     |       |     |     |     |     |       |     |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |     |
| 6年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 875                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 400  | 1,275                   | 106 |     |     |     |     |     |     |       |     |     |     |     |       |     |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |     |
| 5年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 805                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 390  | 1,195                   | 100 |     |     |     |     |     |     |       |     |     |     |     |       |     |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |     |
| ※ 大人→高校生以上                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |      |                         |     |     |     |     |     |     |     |       |     |     |     |     |       |     |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |     |
| ＜実施種目＞                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |      |                         |     |     |     |     |     |     |     |       |     |     |     |     |       |     |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |     |
| 卓球、バドミントン、バスケットボール、ソフトバレーボール<br>モルック、ボッチャ、カーリンコン、ダブルダッチ 等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |      |                         |     |     |     |     |     |     |     |       |     |     |     |     |       |     |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |     |
| 成果                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | ・ 毎月1回土曜日の18時30分から「サタデーナイト」を定期的に開催することで、町民のスポーツ振興に寄与した。また、昨年度に比べて参加者数も増加した。<br>・ モルック、ボッチャ、カーリンコンのニュースポーツを隔月で実施することにより、参加者の幅を拡げることができた。                                                                                                                                                                                                                                     |      |                         |     |     |     |     |     |     |     |       |     |     |     |     |       |     |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |     |

|         |                                                                                                                                                                                                           |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | <ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度当初には、若手スポーツ推進委員が新たに加入し、令和7年度中には、更にもう1名の若手スポーツ推進委員が新たに加入することが見込まれている。</li> </ul>                                                                               |
| 課 題 認 識 | <ul style="list-style-type: none"> <li>「サタデーナイト」の継続開催及び種目の更なる充実が必要である。</li> <li>参加者数が開催月によって大きな差があり、小中学校の長期休業中及び中学校の定期テストの開催時期の影響がみられる。</li> <li>引き続き、スポーツ推進委員の担い手を確保することで、持続可能な体制づくりを図る必要がある。</li> </ul> |

事務事業番号＜34＞

| 重 点 目 標   | 【重点目標14】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |      |                         |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------------|
| 事 務 事 業 名 | スポーツ施設開放事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 担当部署 | 生涯学習課<br>(生涯学習・スポーツ振興係) |
| 事 業 実 績   | <p>誰もが心身共に健康な生涯を実現できるよう、各スポーツ施設を整備・充実し、日常的に体力・競技力の向上が図られる環境づくりに努め、年齢や体力、目的に応じて、主体的にスポーツに親しむ生涯スポーツを振興することを目指し、スポーツ施設開放事業を実施した。</p> <p>【施設別の利用件数／利用者数】</p> <p>＜桂川河川敷公園＞（野球場、テニスコート、陸上競技場）<br/>利用件数 88件／利用者数 3,769名<br/>（前年度86件／4,409名）</p> <p>＜岩崎運動広場＞<br/>利用件数 227件／利用者数 925名<br/>（前年度264件／1,285名）</p> <p>＜町内小中学校体育施設＞<br/>利用件数 1,094件／利用者数 22,447名<br/>（前年度1,107件／23,037名）</p> |      |                         |
| 成 果       | <ul style="list-style-type: none"> <li>特に小中学校体育施設については、町民のスポーツ活動の中心的な役割を果たしている。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                     |      |                         |
| 課 題 認 識   | <ul style="list-style-type: none"> <li>桂川河川敷公園において、テニスコートは4面あるが、雨期の冠水被害の影響で、利用可能な状態であるのは1面のみであり、利用は昨年度同様1年間で2件のみであり、立地上、やむを得ない側面はあるが、継続的な利用に向けて対策を検討する必要がある。</li> <li>現在、岩崎運動広場では、施設上の不備により、フットサルでの利用ができない状態となっているため、その解消を図る必要がある。</li> </ul>                                                                                                                                  |      |                         |

事務事業番号<35>

| 重 点 目 標   | 【重点目標15】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |      |                  |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------------------|
| 事 務 事 業 名 | 歴史資料館運営事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 担当部署 | 生涯学習課<br>(歴史資料館) |
| 事 業 実 績   | <p>町の美しい自然と豊かな歴史を活用し、自分の住んでいる地域への愛着や誇りをはぐくむとともに、様々な取組や町内にある数多くの文化財に興味・関心を持ち、郷土の歴史や伝統文化を受け継ぐことを目指し、歴史資料館の運営を行なった。</p> <p>歴史資料館運営事業<br/>【年間入館者総数】<br/>4,736 名(開館日数 297 日)<br/>【図録等販売実績】<br/>528,975 円</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |      |                  |
| 成 果       | <ul style="list-style-type: none"> <li>令和 6 年度は、歴史街道推進協議会「西国街道部会」、京都府南部ミュージアム連絡協議会(南ミュ連)、京都府ミュージアムフォーラム合同展覧会(府文化政策室)などと連携し、多彩な展示、講演会、現地見学会などを実施した。また、奈良国立博物館における国土交通省の行基関連企画では、行基関連の話題提供を行なった。</li> <li>京都府文化政策室が主導する乙訓戦国ミュージアムウォークにおいて、向日市・長岡京市・大山崎町の城跡を現地案内する企画に参画した。</li> <li>令和 6 年度は、近年でもっとも他自治体や他館と、活動、広報等で積極的に連携し、各館の学芸員の個性や特徴、得意分野などを相互に認識できるようになり、連携事業における役割分担や報告内容に反映できるようになった。</li> <li>小企画展も頻繁に開催し、新規の館蔵文化財の紹介に努めた。その際、講演会開催時に関連する過去の図録を紹介し、販売実績を向上させた。</li> <li>地元小学校における歴史学習においても資料館が積極的に使用され、歴史を学ぶ小学 6 年生の見学を得た。行基、紀貫之、藤原定家、千利休、豊臣秀吉など、教科書にも登場する人物たちが大山崎の歴史にも関連し、地域に対する関心や愛着を喚起できたと考える。</li> </ul> |      |                  |
| 課 題 認 識   | <ul style="list-style-type: none"> <li>入館者数については、コロナ禍以前の状態へとゆっくり戻りつつあるが、入館者増加への決定的な対策は難しく、引き続き広報について積極的に紹介していく必要がある。</li> <li>現行の資料館の体制では、他館との連携などといった知見の継承が困難であり、体制の充実や課内の連携が一層重要である。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |      |                  |

|  |                                                                                                                                                                                           |
|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図録や報告書等の販売促進に心掛け、文化財啓発につなげている。こうした販売や宣伝には、図録の中身を熟知しておかなければ要領を得られないため、やはり中身を把握したうえで紹介することが肝要である。図録販売は、さらにホームページを有効に活用し、販売促進につなげる必要がある。</li> </ul> |
|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

事務事業番号<36>

|           |                                                                                                                                                                                                                      |                        |                       |                  |               |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|-----------------------|------------------|---------------|
| 重 点 目 標   | 【重点目標15】                                                                                                                                                                                                             |                        |                       |                  |               |
| 事 務 事 業 名 | 企画展等事業                                                                                                                                                                                                               |                        | 担当部署                  | 生涯学習課<br>(歴史資料館) |               |
| 事 業 実 績   | 町の美しい自然と豊かな歴史を活用し、自分の住んでいる地域への愛着や誇りをはぐくむとともに、様々な取組や町内にある数多くの文化財に興味・関心を持ち、郷土の歴史や伝統文化を受け継ぐことを目指し、歴史資料館において企画展等を開催した。                                                                                                   |                        |                       |                  |               |
|           | ① 歴史資料館企画展の開催                                                                                                                                                                                                        |                        |                       |                  |               |
|           |                                                                                                                                                                                                                      | 実施日                    | 内 容                   | 参加者数             | 備考            |
|           | 1                                                                                                                                                                                                                    | 5月10日(金)<br>～6月23日(日)  | 小企画展 鉄道で<br>お出かけ!大山崎  | 785人             | 小企画展          |
|           | 2                                                                                                                                                                                                                    | 5月28日(火)<br>～8月4日(日)   | 錦絵にみる山崎合戦Ⅱ            | 900人             | 小企画展          |
|           | 3                                                                                                                                                                                                                    | 8月6日(火)<br>～8月25日(日)   | 第26回<br>「平和のいしずえ」展    | 184人             | 小企画展          |
|           | 4                                                                                                                                                                                                                    | 10月26日(土)<br>～12月1日(日) | 宝積寺 1300年<br>その信仰のかたち | 927人             | 第32回<br>企 画 展 |
|           | 5                                                                                                                                                                                                                    | 3月18日(火)<br>～4月29日(火)  | 淀川沿岸を描いた<br>古絵図       | 311人             | 小企画展          |
| 成 果       | ② その他                                                                                                                                                                                                                |                        |                       |                  |               |
|           | 町内文化財の修理、館蔵古文書の目録作成                                                                                                                                                                                                  |                        |                       |                  |               |
| 成 果       | ・ 5～6月の小企画展では、京都周辺の鉄道と観光に関する展示のみならず、現地見学会、古文書講座も実施し、関連図録の販売促進につなげた。                                                                                                                                                  |                        |                       |                  |               |
|           | ・ 「平和のいしずえ」展では、町内で確認された戦前の雑誌『支那事变画報』を展示した。これは日中戦争に関する雑誌で、戦争の経過と平時における日本軍による宣撫活動などが扱われている。生々しい写真や描く対象から当時の戦争の実態を取り上げた。                                                                                                |                        |                       |                  |               |
|           | ・ 町役場が主催する平和事業講演会が講師の急病で実施できなかったため、急遽学芸員が壇上に立ち、『支那事变画報』と現代との関わりについて講演した。その際、子どもたちにも興味を持てる題材を扱った。                                                                                                                     |                        |                       |                  |               |
|           | ・ 令和6年度京都府ミュージアムフォーラム合同展覧会「スポットライト-今、ミュージアムが光を当てたい逸品展-」では、大山崎小学校が保管してきた1930年代のアメリカからのアルバム2点を展示した。第一次世界大戦後、各国、民族の相互理解を深めるため赤十字社は、子どもたちのアルバム交換を促進しており、これらは第二次大戦直前に多くが破棄されたが、大山崎小学校では大事に保管されてきた。日本国内では唯一残った事例である可能性が高い。 |                        |                       |                  |               |
|           |                                                                                                                                                                                                                      |                        |                       |                  |               |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第32回企画展では建立 1300 年と伝える宝積寺について、古文書、彫刻の胎内資料、考古資料からたどってみた。</li> <li>・ 生涯学習ボランティアグループ(大山崎ふるさとガイドの会)に対して、企画展時に入れ替わった新しい展示品が説明できるよう、学習会を実施した。新たに修得された知識等を活用できるようになり、説明内容に幅ができた。</li> <li>・ 最近蒐集した古絵図から、かつての淀川沿岸の堤防の変遷をたどった。</li> <li>・ 大山崎の地方文書として『上野家文書』の整理、調査を実施した。</li> </ul> |
| 課 題 認 識 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近年、文化財の公開・展示にかかる展示環境のハードルが高くなっており、有機酸ガスや温湿度の調査が求められるケースが増えてきているため、展示保管環境の維持のためにも学芸員の知見の継承は喫緊の課題である。</li> <li>・ 近年、外部からの歴史や文化財に対するレファレンスが増加しており、内容も専門性が高い問い合わせが増えてきている、今後とも町内の地域文化財、史料の発信を継続的に進め、大山崎町の歴史や文化の理解を更に広げることが必要である。</li> </ul>                                    |

事務事業番号<37>

|           |                                                                                                                         |                                 |                                                                             |         |                                        |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|---------|----------------------------------------|
| 重 点 目 標   | 【重点目標15】                                                                                                                |                                 |                                                                             |         |                                        |
| 事 務 事 業 名 | 講座・講演会事業                                                                                                                | 担当部署                            | 生涯学習課<br>(歴史資料館)                                                            |         |                                        |
| 事 業 実 績   | 町の美しい自然と豊かな歴史を活用し、自分の住んでいる地域への愛着や誇りをはぐくむとともに、様々な取組や町内にある数多くの文化財に興味・関心を持ち、郷土の歴史や伝統文化を受け継ぐことを目指し、歴史資料館において、各種講座・講演会を開催した。 |                                 |                                                                             |         |                                        |
|           | <啓発事業の開催>                                                                                                               |                                 |                                                                             |         |                                        |
|           |                                                                                                                         | 実施日                             | 内 容                                                                         | 参加者数    | 備考                                     |
|           | 1                                                                                                                       | 5月12日(木)                        | 大山崎の鉄道遺跡を歩く                                                                 | 16 人    | 現地見学会                                  |
|           | 2                                                                                                                       | 6月22日(土)                        | 幻の天王山電気鉄道について                                                               | 40 人    | 古文書講座                                  |
|           | 3                                                                                                                       | 7月13日(土)<br>～9月8日(日)            | 京都府ミュージアムフォーラム合同展覧会<br>「スポットライト-今、ミュージアムが<br>光を当てたい逸品展-」<br>アメリカからのアルバム2点展示 | 3,043 人 | 京都府立京都学<br>歴彩館の展示<br>(参加者も同館)          |
|           | 4                                                                                                                       | 9月29日(日)                        | 講演会<br>「山城国府時代の大山崎」                                                         | 30 人    | 京都府南部地域ミュージアム<br>連絡協議会合同事業<br>「平安の文化へ」 |
|           | 5                                                                                                                       | 10月13日(土)                       | 現地見学会<br>「平安時代の大山崎」                                                         | 15 人    | 京都府南部地域ミュージアム<br>連絡協議会合同事業<br>「平安の文化へ」 |
|           | 6                                                                                                                       | 9月7日(土)                         | 魅力再発見<br>西国街道キックオフイベント<br>街道を行き交った人々                                        | 44 人    | 講演会シンポジウム<br>(高槻市)                     |
|           | 7                                                                                                                       | 11月2日(土)                        | 中世の宝積寺と大山崎                                                                  | 34 人    | 歴史講演会①<br>宝積寺 1300 年                   |
|           | 8                                                                                                                       | 11月9日(土)                        | 京都の仏教彫刻と<br>宝積寺十一面観音像                                                       | 40 人    | 歴史講演会②<br>宝積寺 1300 年                   |
|           | 9                                                                                                                       | 11月17日(日)                       | 現地見学会<br>「宝積寺の仏教彫刻をみる」                                                      | 30 人    | 現地見学会<br>宝積寺 1300 年                    |
|           | 10                                                                                                                      | 11月30日(土)                       | 宝積寺の歴史と仏像                                                                   | 54 人    | 歴史講演会③<br>宝積寺 1300 年                   |
|           | 11                                                                                                                      | 12月7日(土)                        | 京都府南部ミュージアム連絡協議会<br>「平安の文化へ」総括イベント                                          | 92 人    | 現地見学会                                  |
| 12        | 12月22日(日)                                                                                                               | 乙訓戦国ミュージアムウォーク<br>大山崎コース(山崎城見学) | 28 人                                                                        | 現地見学会   |                                        |

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                       |              |      |       |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|--------------|------|-------|
|     | 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 令和 7 年<br>3 月 23 日(日) | 淀川沿岸の近世文書を読む | 15 人 | 古文書講座 |
| 成 果 | <ul style="list-style-type: none"><li>当館の講演会では、常に講師と聴衆との質疑応答を設けており、緊張感のある講座を維持している。また、司会を学芸員が担当することで、講演会を的確に運営し、講師と参加者との距離感をよりいっそう縮めることができたと考える。</li><li>第 32 回企画展では、建立して 1300 年を迎えた宝積寺に焦点をあて、その関係史料を展示した。行基の陰刻瓦、宝積寺文書、十一面観音立像胎内資料から、副題にある各時代の信仰のかたちを追求した。また、同寺の住職にも講演会講師を勤めていただくことで、寺院を守る側からの講演を聞くことができた。</li><li>食事付の現地見学会(企画展関連事業)を再開したことで、昼食時に同好の参加者が打ち解ける場を意識的に設けた。</li><li>歴史街道推進協議会西国街道部会の令和 5 年度キックオフイベントにおいて、沿道に関する日記や記録から、かつて歩いた人々の視点から西国街道を捉え直した。沿道の博物館・資料館との情報交換も充実していた。</li><li>今まで、内部の研修が中心であった京都府南部ミュージアム連絡協議会では、「平安の文化へ」というテーマで初めて対外行事を展開した。平安時代の大山崎に関する講演会、現地見学会を実施した。</li><li>ふるさとセンターにおいて総括イベントも開催し、多くの方々の参加を得た。今まで平安時代をテーマに自治体間で比較検討した事業がなかったため、貴重な機会となった。</li><li>京都府文化政策室がまとめた乙訓戦国ミュージアムウォークでは、向日市の物集女城跡が国史跡に指定されたことを記念して、同市、長岡京市、大山崎町の城跡を見学する企画を催した。大山崎町は悪天候のため、日程を替えたが、多くの方の参加を得た。</li><li>令和 6 年度は、京都府、近隣自治体、西国街道沿道の博物館施設と密接な協同事業を展開し、有意義な啓発を開催できた。特に講演会、現地見学会などを開催し、参加者にも近い活動を行い得たと考える。</li><li>文化財調査および環境調査を実施した。新しく確認された地元資料を良好な状態で保存し、これを後代に伝え、展示・公開を進めることができる。また、将来の企画展・小企画展にも活用することができる。</li></ul> |                       |              |      |       |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 課 題 認 識 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ禍以降の住民ニーズのなかで、より効果的な文化財啓発の方策が求められている。</li> <li>・ 講演会参加者の高い要望に応えられるよう、質疑応答の充実をさらに進めたい。</li> <li>・ 小中学生の関心を高めるテーマを、さらに追求していく必要がある。これには、子どもたちの習熟度に応じた説明や理解の促進を実施することが肝要である。</li> <li>・ 寄贈を受けた地元の古文書等を調査し、その目録を作成することが必要であり、さらにその内容を調査、把握して、小企画展等において公開・活用していくことにつなげたい。</li> <li>・ 町内から流出した古文書や古絵図の蒐集にも努めたい。</li> <li>・ こうした館蔵文化財の調査や活用を継続するためにも、次世代の学芸員の育成が急務である。</li> </ul> |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

事務事業番号＜38＞

| 重 点 目 標   | 【重点目標15】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |      |                  |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------------------|
| 事 務 事 業 名 | 有形文化財の保護                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 担当部署 | 生涯学習課<br>(歴史資料館) |
| 事 業 実 績   | <p>町の美しい自然と豊かな歴史を活用し、自分の住んでいる地域への愛着や誇りをはぐくむとともに、様々な取組や町内にある数多くの文化財に興味・関心を持ち、郷土の歴史や伝統文化を受け継ぐことを目指し、有形文化財の保護・修理事業を実施した。</p> <p>＜国庫補助による修理＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要文化財(美術工芸品)</li> </ul> <p>大山崎離宮八幡宮文書保存修理抜本強化事業<br/>令和6年11月1日～令和7年3月31日<br/>補助対象者：宗教法人離宮八幡宮</p> <p>＜国指定文化財維持管理費補助金＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象文化財</li> </ul> <p>離宮八幡宮、自玉手祭来酒解神社、宝積寺、妙喜庵、大念寺、聴竹居</p> |      |                  |
| 成 果       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国、府と連携し、地元の文化財の保護に努めることができた。</li> <li>・ 離宮八幡宮では、重要文化財「大山崎離宮八幡宮文書」が保管されている社務所建物の修理を実施した。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                  |      |                  |
| 課 題 認 識   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後とも台風や落雷、地震などによる国宝、重要文化財の被災について、可能な限り減災に努める必要があると共に、各種の補助事業などについて所有者との密な連絡が必要である。</li> <li>・ 今後、修理が求められている寺社もあり、引き続き対処していく必要がある。</li> <li>・ 当町は指定、登録文化財の数が集中しており、なかには山上に存在する文化財もあるため、緊急時に対応できるような組織体制づくりが喫緊の課題である。</li> <li>・ 専門職員は文化財各々の特徴について把握するだけでなく、常に文化財保護にかかる所有者の努力を成果として行政側が積極的に認める、あるいはバックアップしていくという信頼関係が不可欠であり、そうした関係を長期的に構築する必要がある。</li> </ul>          |      |                  |

事務事業番号＜39＞

|           |                                                                                                                                                                                                                         |      |                  |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------------------|
| 重 点 目 標   | 【重点目標15】                                                                                                                                                                                                                |      |                  |
| 事 務 事 業 名 | 文化財調査事業(原因者)                                                                                                                                                                                                            | 担当部署 | 生涯学習課<br>(文化芸術係) |
| 事 業 実 績   | <p>町の豊かな文化財を活用し、住民の地域への愛着や誇りをはぐくむため、地中に埋蔵された文化財の発掘調査等(主に宅地造成に伴う原因者負担による調査)を実施した。</p> <p>① 出土遺物整理作業<br/>実施期間:4月1日(月)～3月31日(月)<br/>概要:令和5年度の発掘調査で出土した遺構・遺物の整理作業を実施した。(大山崎町第82次遺跡確認調査)</p> <p>② 『大山崎町埋蔵文化財調査報告書』第72集刊行</p> |      |                  |
| 成 果       | <ul style="list-style-type: none"> <li>『大山崎町埋蔵文化財調査報告書』第72集において、山崎廃寺出土瓦と同じ特徴の平瓦が出土した山崎遺跡(字大山崎小字琵琶谷)の大山崎町第82次遺跡確認調査の成果を報告した。</li> </ul>                                                                                  |      |                  |
| 課 題 認 識   | <ul style="list-style-type: none"> <li>出土遺物の整理作業を行っている埋蔵文化財整理室の施設・備品が老朽化しており、計画的に改修や更新を実施する必要がある。</li> <li>埋蔵文化財の発掘調査の必要性について、土地所有者や開発事業者の理解が得られるよう、地域の住民などへ成果をよりわかりやすく発信する必要がある。</li> </ul>                            |      |                  |

事務事業番号＜40＞

|         |                                                                                                                                                                                                                                      |      |                  |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------------------|
| 重 点 目 標 | 【重点目標15】                                                                                                                                                                                                                             |      |                  |
| 事務事業名   | 文化財調査事業(国庫補助)                                                                                                                                                                                                                        | 担当部署 | 生涯学習課<br>(文化芸術係) |
| 事業実績    | <p>町の豊かな文化財を活用し、住民の地域への愛着や誇りをはぐくむため、地中に埋蔵された文化財の発掘調査等(重要な遺跡の国庫補助による調査)を実施した。</p> <p>① 出土遺物整理作業<br/>実施期間:4月1日(月)～3月31日(月)<br/>概要:令和5年度の発掘調査で出土した遺構・遺物の整理作業を実施した。(長岡京跡右京第1273-2次調査・大山崎町第81次遺跡確認調査)</p> <p>② 『大山崎町埋蔵文化財調査報告書』第71集刊行</p> |      |                  |
| 成 果     | <ul style="list-style-type: none"> <li>『大山崎町埋蔵文化財調査報告書』第71集において、中世の耕作遺構を検出した久保川遺跡(字円明寺小字里ノ後)の長岡京跡右京第1273-2次調査と、瓦廃棄土坑の延長部分を検出した大山崎瓦窯跡北側隣接地(字円明寺小字白味才)の大山崎町第81次遺跡確認調査を報告した。</li> </ul>                                                 |      |                  |
| 課題認識    | <ul style="list-style-type: none"> <li>重要な遺跡の範囲や実態を把握して、町の歴史を研究するとともに、その成果を広くわかりやすく発信し、埋蔵文化財を適切に保存活用する必要がある。</li> <li>出土遺物の整理作業を行っている埋蔵文化財整理室の施設・備品が老朽化しており、計画的に改修や更新を実施する必要がある。</li> </ul>                                          |      |                  |

事務事業番号＜41＞

| 重 点 目 標   | 【重点目標15】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |      |                  |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------------------|
| 事 務 事 業 名 | 埋蔵文化財等普及啓発事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 担当部署 | 生涯学習課<br>(文化芸術係) |
| 事 業 実 績   | <p>町の豊かな文化財を活用し、住民の地域への愛着や誇りをはぐくむため、これまでの埋蔵文化財の発掘調査等で明らかになった成果を広く普及啓発する事業を実施した。</p> <p>① 大山崎中学校職場体験学習(2年生 3 名)<br/>実施期日: 9月 3 日(火)4 日(水)</p> <p>② 大山崎町文化財保護審議会<br/>日時: 2月 12 日(水) 10 時～12 時<br/>出席者: 審議委員5名中3名、事務局4名<br/>概要: 文化財保護に関する事業報告および事業計画について、専門的立場からの指導・助言を得た。また、2点の文化財(百々遺跡出土木簡、大山崎天王山天神八王子社文書)について、町指定文化財に相当する旨の答申を得た。</p> <p>③ 「スライドでみるおとくにの発掘(長岡京発掘70周年)」の開催<br/>日時: 3月2日(日)13 時～16 時<br/>会場: 永守重信市民会館<br/>参加者数: 一般住民 約 60 名</p> |      |                  |
| 成 果       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大山崎中学校の職場体験学習では、生徒3名が埋蔵文化財の整理作業を体験し、町の文化財を守る必要性について理解するとともに、社会性や職業観を身に付ける良い機会となった。</li> <li>・ 「スライドでみるおとくにの発掘」では、長岡京発掘70周年をテーマとして、本町のほか長岡京市、向日市、京都市の担当者がそれぞれ報告を行った。本町からは、町内における長岡京跡南部の調査成果をまとめて報告した。</li> </ul>                                                                                                                                                                                      |      |                  |
| 課 題 認 識   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若い世代を含む多くの住民が地域の歴史に興味・関心を抱くことができるよう、発掘調査等の成果をよりわかりやすく発信する必要がある。</li> <li>・ 史跡大山崎瓦窯跡公園を適切に維持管理するとともに、利用者が町の歴史文化を感じることができるよう活用を進める必要がある。</li> <li>・ 史跡乙訓古墳群 鳥居前古墳の整備を進める必要がある。</li> <li>・ 山崎城跡などを中心とする天王山全体の遺構保全を見据え、引き続き調査・啓発等を進める必要がある。</li> </ul>                                                                                                                                                   |      |                  |

事務事業番号＜42＞

| 重 点 目 標   | 【重点目標15】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |      |                  |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------------------|
| 事 務 事 業 名 | 大山崎町指定文化財の新指定                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 担当部署 | 生涯学習課<br>(文化芸術係) |
| 事 業 実 績   | <p>町の豊かな文化財を保護して未来へ伝えるため、町文化財保護条例に基づき、新たに2点の文化財を町指定文化財に指定した。</p> <p>① 新しく指定した町指定文化財</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「百々遺跡出土木簡」(平安初期の荷札木簡)</li> <li>・「大山崎天王山天神八王子社文書」(室町後期から江戸後期の大山崎の情報が記載された資料)</li> </ul> <p>② 上記2点の文化財について、下記の手続きを経たうえで大山崎町指定文化財に新たに指定した。</p> <p>令和6年2月14日 大山崎町文化財保護審議会への諮問<br/>令和7年2月12日 大山崎町文化財保護審議会からの答申<br/>令和7年3月21日 大山崎町教育委員会で指定の議決</p> |      |                  |
| 成 果       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・埋蔵文化財の発掘調査や資料館による資料調査を通じて価値を明らかにした重要な文化財について、新たに町指定文化財に指定することにより、保存措置を講じることができた。</li> <li>・町の歴史を考察するうえで重要な文化財を町指定文化財に指定し、広く周知することにより、歴史文化の魅力を発信することができた。</li> </ul>                                                                                                                                                                 |      |                  |
| 課 題 認 識   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は、町指定文化財等を積極的に活用し、住民等が見て、触れて、町の歴史文化に愛着や誇りを感じることができる機会を創出する必要がある</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                        |      |                  |

事務事業番号＜43＞

| 重 点 目 標   | 【重点目標15】                                                                                                                                                                                                                                     |      |                  |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------------------|
| 事 務 事 業 名 | 文化事業                                                                                                                                                                                                                                         | 担当部署 | 生涯学習課<br>(文化芸術係) |
| 事 業 実 績   | <p>町の文化振興のため、本町を含む乙訓二市一町で活動している文化・芸術団体が一堂に会して成果を発表し、交流する場となる乙訓文化芸術祭(乙訓地方中学校吹奏楽部演奏会)を実施した。</p> <p>① 乙訓文化芸術祭(乙訓地方中学校吹奏楽部演奏会)<br/> 日時:6月9日(日)13時30分～16時30分<br/> 主催:乙訓文化芸術祭実行委員会・乙訓地方中学校校長会<br/> 会場:長岡京記念文化会館<br/> 参加者数:一般住民約1,100名、出演者約400名</p> |      |                  |
| 成 果       | <ul style="list-style-type: none"> <li>乙訓文化芸術祭では、大山崎町・長岡京市・向日市内の公立中学校8校の吹奏楽部が集い、日頃の練習の成果を発揮するとともに、互いに交流を図る良い機会となった。</li> </ul>                                                                                                               |      |                  |
| 課 題 認 識   | <ul style="list-style-type: none"> <li>文化芸術活動の発表機会を確保するとともに、地域における文化芸術活動の活性化を図る必要がある。</li> <li>乙訓文化芸術祭の運営に必要な人件費等が高騰しているため、今後事業を継続するための方策を検討する必要がある。</li> </ul>                                                                              |      |                  |